

次期「宇治市都市計画マスタープラン全体構想（素案）」に
関するパブリックコメントの意見概要及び市の考え方

次期「宇治市都市計画マスタープラン全体構想（素案）」に関するパブリックコメント意見概要及び市の考え方について

1. 意見募集期間：令和3年5月24日（月）～令和3年6月30日（水）

2. 意見提出者数 23人

	人数
① 持参	2人
② 郵便	3人
③ ファクシミリ	7人
④ 電子メール	5人
⑤ 市民の声投書箱	6人

3. 意見数 92件

	件数
① 取り組み提案	14件
② 要望	10件
③ 全体構想の内容（都市づくりの基本理念と基本目標）	21件
④ 全体構想の内容（部門別方針）	25件
⑤ その他	22件

※1人で複数の意見を提出された方がいるため、提出者数と意見数の合計は一致しません。

4. 意見の概要及び宇治市の考え方

No	意見の概要	宇治市の考え方	修正の有無
① 取組み提案			
1	兵庫県明石市を参考にして、子育て世帯を呼び込むべき。明石市が積極的に子育てに力を入れたことで、神戸市から多くの人々が明石市に移住した。宇治市も、土地の価格が高騰して市外に流れている京都市の子育て世帯に選んでもらえるような支援をすべき。	ご提案頂きました様々な視点からのまちの魅力発信は、宇治を選んで頂くためにも検討しなければなりません。 そのため、都市づくりの基本目標に“宇治らしさを活かした選ばれる都市づくり”、“多様な住まい方・働き方を支える都市づくり”を定め、都市づくりを進めることとしております。	無
2	ナイトエコノミーは経済効果が大きいことから、深夜でも楽しめるような街が必要だ。小倉・大久保エリアを筆頭に、検討してみしてほしい。		無
3	阪神間を参考にした街作りは必須。今の若い世代はお洒落な街じゃないと住んでくれない。		無
4	大阪・天王寺公園みたいな公園があれば、若者が集まるはずだから、そういった公園が必要。		無
5	私立の中等教育機関が必要。難関私立大学の付属校を誘致して、教育熱が高い子育て世帯をターゲットにするべし。		無
6	廃止された花火大会に代わる大きなイベントが必要。年始に中国の上海でドローンを使ったイベントが行われているから、大量のドローンを使えば面白いものができると思う。ドローンであるため、火事の危険性がない。とにかく、市外からも人が集まるようなイベントにしなければならない。		無
7	カムループス通り、市役所前の幹線道路（市道対象）の高木トウカエデは秋の剪定から4月末頃まで、街路景観は殺風景で樹木が棒のように無機質を呈している様は貧しくて市には心のゆとり欠けているようである。他府県の観光と比較して残念である。市民、来訪者の視覚効果は高く「人づくり、町づくり」になるもので、街路景観を市民参加型デザインに改める。財政厳しい中、費用対効果で市民を巻き込む。対策として、高木は倒伐しないかぎりは現存、低木シャリンバイの一部にユキヤナギや市の花ヤマブキ加え、幹線毎に	ご提案頂きましたとおり、公園・緑地の基本的方針の、“人の交流を広げるふれあいの場をつくります”の都市づくりにつきましては、市民と行政が協働で推進していく必要があると考えております。 この視点は重要であり、ご意見を参考に「植物公園などのみどりと交流の拠点において、市民にみどりの大切さと素晴らしさを伝えるとともに、みどりを育む人材を育成し、みどりに親しむ活動の促進を通じ、花とみどりのまちづくりを進めて	有

	<p>アクセントに入れる。次に雑草防止にグランドカバーになる植栽を植える。但し、道路構造令に抵触しない範囲で行い、道路植え込みは安全上、業者依頼となる。</p> <p>市民参加型のグランドカバー育苗は、市民ボランティア、まちかどふれあい花壇の団体、「緑地+福祉」で認知症にやさしいまち・うじの一助で若年性認知症の方々にも応援してもらおう。育苗などは植物公園の指導のもとで製作。手始めに植物公園の東西幹線に点から線、面へと広げて、最終は宇治の文化的景観区域に展開する。まず視覚的効果を作って、幹線毎に特徴ある景観を年中楽しめるようにする。</p>	<p>いきます。」と記述を修正します。</p>	
8	<p>「交通の基本方針」に、「やさしい歩くことが楽しくなる環境」と書かれているのは、全面的に賛成です。ある場合には、道路や交通機関を変更・削減するなどのことも、大いに必要でしょう。また、やや具体的なことになり過ぎるかもしれませんが、例えば、京都市営地下鉄東西線を、例えば京阪電鉄が大津線で行なったと同じようなやりかたでも、宇治市域に延長することなども、少なくとも考えてみる価値はあるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご提案の更なる公共交通の利便性向上は、定住人口につながるなど重要な視点ではありますが、人口減少・少子高齢社会が進行する中、まずは現在の公共交通をはじめとしてみちの資源を共有することで市民が享受できる都市のサービスの質を確保・向上させていくことから取り組まなければならないと考えております。</p>	無
9	<p>市街地ゾーン内に新たにマンション特区を設けて現在7階建て迄の高さ制限を建て替え時は10～13階建て位を可能にしてはどうか。現在建っているマンションは比較的に交通、買物の便が良い所に建っており、高齢者達が居住するにふさわしい場所が多いと考えられるから、建替時に高層化を許可する事により、市が取り組んでいる高齢化社会と人口減少社会に対して一助になるのでは。特に宇治市東部は丘陵住宅地が多く、高齢者には車の運転が出来なくなれば住みづらい現状です。高層マンションの建替を可能にするには近隣の住宅地に日陰を殖やす場所や景観を大きく損なう区域で無い事を充分調査の必要があり、宇治市には問題の無い区域が何箇所か有りそうに考えます。</p>	<p>ご提案のとおり、土地利用の基本方針では、駅周辺の商業・業務地から郊外に向かい落ち着きのある低層住宅地へ誘導しております。一方で、高齢化の進行に伴い、これまでの郊外（丘陵地）のライフスタイルにも課題が出てきております。</p> <p>人口減少・少子高齢社会の進行している中、頂きましたご意見も踏まえ、将来を見据えた新たな魅力の創出の検討も必要であると考えます。</p>	無
10	<p>環境配慮型スマートシティを開発特長 ～緑に囲まれた良い環境で子育てしやすい。ICTで街の見守り、キャッシュカードで買い物弱者対策ができる。</p>	<p>ご提案頂きました新たな技術やサービスは、宇治を選んで頂くためにも検討しなければなりません。そのため、ICTの活用など新たな技術やサービスについて、国などの動向把握を踏まえ調査研究を進めます。</p>	無

11	西小倉小学校付近に拠点を 西小倉小学校から北西に伸びる道は交通の要衝である。南東に行けば寺田に出るのに都合がよく、ここから奈良へ延びる。北西に行けば1号線や油小路に出ることができる。最近では乗用車の通行が多くなっている。北東と南西に向かう道では、北東へ向かえば山科、滋賀方面へ。南西へ向かえば大阪、兵庫方面へ。あの付近に基地を作れば、あのあたりが栄えるのではないかと思う。	頂いたご意見の通り西小倉地域は、高速道路や幹線道路などの自動車交通の利便性の高い地域であることから、“将来的な都市の骨格”に“活力ある都市をめざす新たな取組”として、将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、定住人口につながる多様な働く場の創出を目指す“産業立地検討エリア”に定めております。	無
12	学校跡地に市営の高齢者施設を作る 京都市ではミュージアムにしているところが多いが、それは京都というネームバリューがあるからで、宇治なら中心部以外はその恩恵にはあずかれないだろう。しかし、学校という施設は教室は広いので、使い方次第では十分に耐えうるだろう。更には、一通り生活に必要な設備が揃っているため、転用するのは容易である	頂いたご意見を今後のまちづくりの参考とさせていただくため、関係部署と情報共有を図ります。	無
13	「宇治市活性化推進協議会」を設立する。構成は、宇治商工会議所副会頭を会長に各種団体、金融機関等で構成する（行政はオブザーバー）。目的は、広く各団体や市民の生の声を出し合ってもらい、当面の宇治市の活性化に向け、市民（各団体）が自分たちですべき対策を考え努力する（時には行政が提案する）。必要に応じて行政が環境整備を行う。	平成31年3月に宇治市産業戦略を策定し、戦略に基づき宇治市と宇治商工会議所が一体となって市内産業の振興を図るため、産業支援拠点「宇治 NEXT」を開設し、事業支援を進めております。	無
14	素案に入れられている市、市民、事業者をパートナーとして意見を求めるなら広く多種の集まりから意見を求められるべきでは。2021年意見数50件（12人）あまりにも少ない。今回西小倉在住の新婦人で素案読み、意見を出し合い記入しました。市はもっと工夫してほしい。	今回、全体構想（素案）について意見募集をさせていただきましたが、今回の市民意見募集のほかに令和3年秋頃には各地域においてまちづくりオープンハウス（自由参加型意見交換の場）や意見交換会を開催し、広く都市計画マスタープランを知って頂きご意見をお聞きする機会を設けていきます。	無
② 要望			
15	川沿いの公園にお金を回しすぎるのではなく、住民にもメリットがあるお金の使い方をして頂ければ。また、川沿いの公園なら花火も打ち上げられると思いますので、花火大会の復活もぜひご検討ください。	頂いたご意見は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	無
16	これからの成熟型社会の中で質の向上を目指すのは、市街化区域だけが対象であってはならない。	“土地利用の基本的方針”の“農地・山間集落地”にありますとおり、都市計画マスタープランは市街化区域に市街化調	無

	市街化調整区域では、長年調整区域であったがゆえに少子高齢化が極端に進み地域のコミュニティ機能が低下してしまっている。このまま放置すれば買い物難民や医療難民が続出して行政にかかる負担も大きくなる。	整区域を含め検討しております。 少子高齢化や休耕など市街化調整区域が抱える問題を地域とともに共有し、市街化を抑制すべき区域であるという市街化調整区域の目的を変えない範囲で住環境の維持や秩序ある発展など地域振興に向けたまちづくりを記述し、地域との意見交換も始めております。	
17	このマスタープラン全体構想では、基本理念の追求のために豊かな自然環境や歴史的資産を生かしたまちづくりをすすめることにされている。しかし、この中には宇治市内で起こっている環境破壊が進行している現実や、市街化調整区域内で生活する地域住民の実情が全く反映されておらず、基本的な進め方の方向性が机上の議論になって行くのではないかと危惧している。		無
18	視点①で成熟型社会を目指す。拡大から質の向上をかかげられているが益々市民が生きていきやすい、若者が定住する町へと進めるなら市民の税金は市民に生かす使い方、税金の生きた使い方をしていただきたいです。将来都市構造について駅周辺の利便性を考えて西小倉地域民にとっては貸部屋、乳児の予防接種力所、親子教室（全て公共）の使用しやすい場所、文化的施設を設けて下さい。	ご意見の小倉地域については、将来都市構造において「地域拠点」と位置付けており、日用品を主体とした商業施設や生活利便施設などを主に配置し、暮らしやすい地域環境の形成を実現する拠点や人を集める新たな魅力を創出するための図るとともに、他の拠点の魅力の共有を図るなど新しい特色を持った拠点を目指すと位置付けております。 今後、各種施策を検討するにあたり、ご意見を参考にさせていただきます。	無
19	市に一番望むことは、安心して生活ができ、子ども達の健やかな成長を支えてくれる保育環境や学校が整備されている事です。小学4年生の娘が通う小学校は、古く、老朽化が進んでいますが、学校を整備するという話と、小中一貫校にするという話は全く別だと思えます。素案の最終ページにある、他の公共施設の基本的方針（水道・学校など）には、「学校施設の整備にあたっては、『地域とともにある学校づくり』、『学校を核とした地域づくり』をめざし小中一貫校の整備や老朽化・耐震化対策に努めます。」とありますが、小中一貫校にすれば、狭い敷地の中に身体の小さい小学1年生から大人と同じくらいの中学3年生までを一緒に詰め込むことになり、メリットよりもデメリットの方が明らかに多くなると思えます。小学校からの人間関係を中学校でもずっと引きずることになり、不登校や友人関係が上手くいっていない子どもたちにとっては、心機一転をする機会も奪われてしまいます。また運動場も十分に使えず、休み時間に子ども達が元気いっぱい遊ぶことすらでき	宇治市では全市立小中学校において義務教育9年間を通して児童、生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行うことにより、小中一貫教育の推進に努めております。 小中一貫校に関して頂きました様々なご意見は、関係部署にお伝えいたします。	無

	<p>ないのではと不安しかありません。</p> <p>コロナ感染で密を避ける暮らし方が言われ続けており、さらに近い将来、地震などの大きな災害が起きることも予想される中、さらに密集する学校生活や、避難所としての意味も持つ学校が無くなることは、本当に地域の住民の願いなのでしょうか。「地域とともにある学校づくり」と反するものだと思います。</p> <p>地域住民全員にアンケートを取ることなく、小中一貫校の話が進むことには全く納得ができません。住民の願いに沿って、宇治市がより住みやすく魅力のある市になることを願います。</p>		
20	<p>市民の学びの場である公民館は5館体制を維持して下さい。</p>	<p>公民館のあり方については、関係機関において検討しております。</p> <p>頂きましたご意見は、関係部署にお伝えいたします。</p>	無
21	<p>観光について</p> <p>新しい観光ルートをつくる。整備する。公衆トイレを設置する（増やす）トイレを増やして安心して歩いて楽しめるルートをつくる。道順があってもよい。ルートパンフがあると良いのでは！歩くことが楽しい都市づくり。</p>	<p>観光振興は宇治市のまちづくりの中でも重要であり、都市計画マスタープランにおいても、文化・歴史的遺産の保全・活用は位置付けております。</p> <p>頂きましたご意見は、関係部署にお伝えし観光振興にいかしていきます。</p>	無
22	<p>将来の水需要に対応した整備に努め、効率的、効果的な水道事業の運営を図ります。と書いてありますが、くわしいことがよくわかりません。近くの西小倉浄水場から夏は冷たく冬は暖かい水道水で水道の水もおいしいです。災害時も地下水は止らず同じ西小倉地域でも断水したところへ水を運びました。将来の水需要が減ったとしても災害リスク分散から西小倉浄水場は必ず存続してほしいと切に願っています。</p>	<p>宇治市水道ビジョン・経営戦略では、「安全な水道水の確実かつ持続的な供給」を基本理念とし、「安全で安心できる水道」、「強靱で災害に強くたくましい水道」、「将来にわたって持続可能な水道」という3つの基本方針を掲げ、水道施設の更新や耐震化を推進しながら、効率的な健全経営を目指し、将来にわたって持続可能な水道事業の運営を図ります」としており、丁寧な説明となるよう追記します。</p>	有
23	<p>国内外の富裕層を呼び込むために、宇治エリアに外資系高級ホテルを誘致すべき。</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものです。</p> <p>頂きましたご意見は、関係部署にお伝えいたします。</p>	無
24	<p>高齢者や障害者やすべての人が利用しやすい公共交通に税金を使って下さい。宇治植物園や運動公園など宇治のどこに住んでいても気軽に行けるバスを宇治全域に走らせて下さい。</p>	<p>“交通の基本的方針”の“公共交通”にありますとおり、市民生活を支える公共交通体系を目指すとしており、社会的ニーズの変化を踏まえ、既存公共交通の利用促進、既存公共交通を基盤とした新たな移動ニーズへの対応、まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの充実など検討を進めてまいります。</p>	無

③ 全体構想（都市づくりの基本理念と基本目標）			
25	脱車社会、入電車社会の脱車入電を掲げて、市民に電車利用を促すべき。具体的には「歩いて楽しい街宇治」をコンセプトにして、国内外の観光都市みたいに歩くのが楽しい街にすれば、電車利用に繋がる。歩くことは、健康の為に必須であるため、市民の健康寿命のアップにも繋がる。また、電車を利用する人が少なくなると、運行本数が減る可能性が高なることから、電車利用促進は市民の為に重要だ。	<p>頂きましたご意見の通り、既存公共交通の利用促進は重要であると考えております。</p> <p>“交通の基本的方針”の“公共交通”にありますとおり、公共交通体系を目指すとしており、社会的ニーズの変化を踏まえ、既存公共交通の利用促進、既存公共交通を基盤とした新たな移動ニーズへの対応、まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの充実など検討を進めてまいります。</p>	無
26	宇治エリアをベンチャーの街にして、若者が集まるような街にすべき。	<p>都市計画マスタープランでは、大久保地域にもものづくり産業拠点（フェニックスパーク）を設けております。</p> <p>また、産業戦略においてベンチャー企業など新たな産業の取り組みを行っております。</p>	無
27	近鉄小倉駅前にある近商ストア跡地をさっさと開発すべきだ。このまま放置すると、さらなる衰退は避けられない。ユニクロや無印、スターバックスがあるような商業施設やタワーマンションの建設を。	<p>近鉄小倉駅周辺のまちづくりの進め方については、現在「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり検討委員会」で検討しております。</p> <p>頂きましたご意見も参考に、今後検討させていただきます。</p>	無
28	高度人材が集まるようにするために、企業の研究所を誘致すべき。高度人材を集めるためには、商業施設や利便性が大切だ。宇治抹茶を前面に出したところで、効果はないから、利便性に力を入れなければならない。	<p>頂きました利便性向上のご意見について、素案p29の基本目標「多様な住まい方・働き方を支える都市づくり」の基本方針④のなかで「将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくる」として、基本的な考え方を記述しております。</p>	無
29	近年、大久保駅周辺がどんどん衰退しているのを心配しています。特に大久保駅高架下のテナントが長年埋まらず、空いたままになっています。別の問題になりますが、広野大久保地域において、図書館がなく、教育面でマイナスポイントになっているのではないかと考えています。両者を解決する方法として、大久保駅高架下に図書館を設置してみたいかでしょうか。ある自治体ではカフェを併設した図書館を設置しているところもあるようですが、そういったものが広野大久保の拠点である大久保駅高架下であれば、地域の活性化や魅力向上につながると思います。面積的に難しいと思うので、図書館だけでもいいと思います。子どもの学力向上につながるのではないのでしょうか。小倉駅近辺の活性化にも力を注がれていま	<p>頂きました近鉄大久保駅周辺のご意見について、素案p40拠点の配置で、近鉄大久保駅周辺を連携拠点と位置づけ、広域的な交通ターミナルを中心としたにぎわいと活力のある都市空間を創出しますとしております。</p> <p>これまでの取組みとして、大久保駅周辺地区整備構想において当面の取組み方針と方策を示し、積極的に整備を行うことで平成元年度に整備が完了いたしました。まずはその効果を検証し今後の取組みの必要性を見極めていく必要があります。</p>	無

	すが、大久保駅周辺にも目を向けて頂ければ嬉しいです。		
30	<p>「3. 都市計画の視点」の、「成長型社会から成熟型社会へ」は、当然のことだと賛成致します。1992年にリオ＝デ＝ジャネイロで開かれたいわゆる「地球サミット」以来、これはずっと叫ばれてきたことですが、残念ながらほとんどかけ声だけで、実質はほとんど伴って来なかったこと、ご承知のとおりです。実質を伴うためには、かなり具体的に、どのように考えてどのように政策を立て、それを実行に移すかが、重要であることは、改めて申すまでもありません。従って、宇治市の全体構想としては、もう少し具体的に考えられないと、これまでと全く同じ、あるいは、却って後退することもあり得るようにさえ、失礼ながら思われます。せめてぜひもう少し、「成熟型社会」の意味する内容を示して頂きたく、どうぞ宜しくお願い致します。</p>	<p>「成長型社会」は、素案に記載しておりますように、従前から提供されてきた都市のサービスの水準を都市内のすべての地域で長期的に維持していく事が困難になってくることが予想されるといった状況に対応するためには、都市のサービスの水準を常に見つめながら、計画的な誘導を図るなど、交通ネットワーク等を通じて地域と地域が連携・補完し、まちの資源を共有することで市民が享受できる都市のサービスの質を確保・向上させていくことが必要であると考えます。</p> <p>具体的には、「土地利用の基本的方針」の、「交通結節機能や都市基盤の役割に応じた市街地の形成を進めます」（素案p45）には交通ネットワーク等を通じ、今あるまちの資源を共有することで市民が享受できる都市サービスの質を確保・向上していくことを基本とした市街地の形成を目指すことなど、これまでよりも明確に記載し、部門別方針に視点の内容を拡充し記載しております。</p>	無
31	<p>「適応的管理」という言葉が一般的になってからですら、少なくとも四半世紀が経ちました。文部科学省・国土交通省・環境省などでも、いろいろ具体的に考えてきたことは、いくらかは私も知っております。しかし、「検証」の場面において、また、それによる計画の「再構築」に当たって、少々見直す程度のことにはあったにしても、<過去のやり方は誤っていたとして、抜本的に変更した>ケースは、寡聞にしてほとんど存じておりません。一般に行政は、<誤りを率直に認めることを、ことのほか嫌がる>と、残念ながら言われているようです。宇治市は、この轍を踏まず、「検証」や「改善」・「再構築」を、行政から離れた検証組織などで考えることを含めて、進められる体制を作られることを、切望致します。</p>	<p>頂きましたご意見の通り「検証」、「改善（見立ての再構築）」は重要であると考えており、検証方法につきましても、都市計画審議会に諮り検討を進めてまいります。</p>	無
32	<p>「4. 基本目標と将来都市構想の基本的な考えかた」は、あまりに「基本的」すぎるといえるのか、誰でもどこについても言えることが並んでいるばかりではないでしょうか。「宇治らしさを活かした選ばれる都市づくり」の3項目については、例えばもう少し、宇治らしい特徴を挙げて、それをどう進めるのか、また、それが破壊されて</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものです。</p> <p>目指す将来都市構造の実現に向け個別・関連計画と連携を図るとともに、関係部局や多様な主体の協働により推進してまいります。</p>	無

	<p>いる現状をどのように改めるのか、そのようなことを書かれるべきだったのではないのでしょうか。</p>		
33	<p>提示された「宇治市都市計画マスタープラン全体構想（素案）」には、現状把握がほとんどなされていないと思う。現状把握及び分析の上にたたない将来図は、砂上の楼閣になると考えます。</p> <p>宇治市都市計画全体構想を企画設計するうえで必要なことは、次の3点と考えます。</p> <p>第一点目は、現状把握、そして分析が必要であると考えます。</p> <p>例えば1) 年齢別人口、収入別人口、収入先の人口（市内、市域外、市内資源活用等）などの構成状態</p> <p>2) 市内保有資源（人、モノ、自然環境、地勢等）</p> <p>3) 財政基盤（現在及び今後の税込やバブル期、平成14年度等の比較）</p> <p>第二点目は、現状分析にたった企画、目標の設定であること。</p> <p>例えば1) 目標は、「希望」としての設定なのか、「実現可能」として設定するのか、「現状改善」一歩前進としての目標であるのか。目標の立ち位置を決めておく必要がある。</p> <p>2) 人によって解釈の異なる「宇治らしさ」「個性ある都市」「人にやさしい都市」等とは何かを示しておく。</p> <p>3) 具体策の提示がなければ、美しい目標は「目標」で終わってしまう。</p> <p>4) 企業経営者、商売人、サラリーマン、年金生活者等において、各文言に共通認識を持たせる必要がある。異なる認識の着地点をどこに置くのか。</p> <p>第三点目は、行動主体（行政当局と市民）、「財政収入と支出先の比重」の整合性など、全体と部分との関係性も重要と考えます。行政当局が、「努めます」「めざします」「進めます」など「〇〇します」ばかりではなくて、市民の協力も呼び掛ける必要があると考えます。</p>	<p>現状把握及び分析については、計画策定にあたり重要と考えており、今回「宇治市の現状と課題」を新たな章としてとりまとめ検討を進めてきたところです。</p> <p>また、これからの都市計画の視点として素案p27にも記載しておりますように、パートナーシップ（市・市民・事業者）による都市づくりが重要と考えており、今回、全体構想（素案）について意見募集をさせて頂きましたが、令和3年秋頃に各地域においてまちづくりオープンハウスや意見交換会を開催し、広く都市計画マスタープランを知っていただく機会を設けていきます。</p>	無

34	<p>将来都市構想図は、ただ一般的に画かれているだけという感じではないでしょうか。六地蔵という、宇治市の北の境界域に住んでいるので特に思うことかもしれませんが、京都市とは、どこで一致・連携して、一帯化していくのか、逆に言えば、京都市がやらない、ないしやれないことを、宇治市はどのように独自に進めるのか、早急に議論をして纏められことを、切に要望致させていただきます。</p>	<p>隣接する市町との「まちづくり連携」が重要と認識しており、特に六地蔵、大久保は連携拠点として重要な役割を果たす地域と考えております。</p> <p>これまでから京都市とは一体的な都市計画を定め協力したまちづくりを進めており、引き続き、隣接する市町とは一体性や相互の効果を踏まえ、都市圏の強化に向け連携してまいります。</p>	無
35	<p>当面の差し迫った課題としては、農耕従事者の不在がある。農業の跡継ぎは無く、農地の所有者は将来に大きな不安を抱えたまま草刈に労力をすり減らしているのが現実である。また、一見緑豊かな自然に見える山林や竹林もイノシシや鹿に荒らされ、更に近年の多発する集中豪雨によって荒廃しきっている。これに起因して山に面したところでは、土砂災害につながりかねない状況にある。住民自らがこれらに手を加えようとしても高齢者ばかりでは対応が難しい。</p>	<p>頂いたご意見は、まちづくりの今後の参考とさせていただくため、農政部署と情報共有を図ります。</p>	無
36	<p>市街化調整区域の扱いについて、全く触れられていないことも疑問である。市街化調整区域が抱えている色々な問題についても現状把握を行い、これからの地域のまちづくりにつなげる姿勢も見せてほしい。志津川は、すでに上下水道も整備されており、これに関する公共投資は不要で市街化を調整する主因は薄れているのではないかと。</p> <p>市街化調整区域内では、雑地や空き家を解体して更地にした場合、住宅建設は強く規制されているが資材置場であれば全く規制なく、自由に設置されている。</p> <p>ひどい業者では、資材置き場として、残土まで持ち込む状況であるが、行政としては規制すらできない。</p> <p>自然豊かな環境を保全するために市街化調整区域に指定されている側面もあるのではと思っていたが、今日では、全く逆で静かな住環境が脅かされている現状である。住宅が自由に建てられないことで、高齢化に歯止めがかからず地域コミュニティが崩壊するような状況ともなっている。このように、豊かな自然が破壊されている現実と市街化調整区域の現実も加味して、自然や河川の環境保護や、今後の市街化調整区域のあるべき姿もマスタープラン全体構想の基本に一項入れるべきではないかと。</p>	<p>“土地利用の基本的方針”の“農地・山間集落地”にありますとおり、都市計画マスタープランは市街化区域に市街化調整区域を含め検討しております。</p> <p>市街化調整区域が抱える問題を地域とともに共有し、市街化を抑制すべき区域であるという市街化調整区域の目的を変えない範囲で住環境の維持や秩序ある発展など地域振興に向けたまちづくりを記述し、地域との意見交換も始めております。</p>	無

37	<p>都市整備の中に緑地化計画がない訳は？3つの産業地候補が上がっていて3つとも産業立地エリアになろうとしているが、同規模で（無料）広場も必要。それでも少ない。住民福祉の向上に（駐車場付きのスーパー）規模の広場が20は市内にないと、健康的な生活を市民全員が送れない。</p> <p>50年、100年先、持続可能な・・・と続くが、市外の会社・人間が50年、100年先も持続的に発展してもらわなくて良い。市民生活の基盤をまずは整えてほしい。</p>	<p>ご意見のあった緑地化計画について、素案p53にも記載しておりますように“公園・緑地の基本的方針”にみどりの方針を定めております。</p> <p>また、別途宇治市みどりの基本計画を定め緑化推進に努めているところです。</p>	無
38	<p>地域に点在する空地に目をつけた不動産業者等が資材置場として土建業者等に斡旋することが増えており、地域住民との間で常にトラブルとなっている。このような放棄地や空地などに住民自らが作成する地区計画によって規律ある住宅建設をすることを可能にし、定住人口を増やして住民自らの手で壊れた自然を修復させるとともに、活力ある街づくりをする、そのことに行政が手助けをすることが切望される。それが宇治市全体の質の向上につながると考える。</p>	<p>宇治市では、魅力あるまちづくりを進めるため、『宇治市まちづくり景観条例』を策定し、市民・事業者・行政が協働してまちづくりを進めております。また、地域の方々が自ら行うまちづくりについても同条例により支援しております。</p> <p>今後も、地域の方々と共にまちのあり方について検討を進めてまいります。</p>	無
39	<p>産業の話が一部地域に集中するのは分かるが、交通対策も集中している。人が少ない地域にも公共交通の対策があっていいのでは。</p>	<p>現在、宇治市公共交通体系基本計画を策定しているところであり、都市計画マスタープランにおいても、“交通の基本的方針”に新たに、社会的ニーズの変化を踏まえ市民生活を支える公共交通体系をめざします、と記載しました。</p>	無
40	<p>これからの都市計画の3つの視点の①について。「拡大から質の向上を目指す」とありますが、人口減少は宇治に限ったことではなく、どの地域でも全国で見られることです。人口減少で税収減になるから都市サービスの水準をすべての地域で長期的に現状維持するのは困難との予想は、最初から自治体の責任を放棄してはいませんか？交通ネットワーク等を通じて地域と地域が連携・補完してまちの資源を共有と言っても、鉄道では市民生活（買い物や通院等）の移動には不十分過ぎます。</p>	<p>現在、宇治市公共交通体系基本計画を策定しているところであり、都市計画マスタープランにおいても、“交通の基本的方針”に新たに、社会的ニーズの変化を踏まえ市民生活を支える公共交通体系をめざします、と記載しました。</p>	無

41	<p>将来都市構造図の中に「天ヶ瀬ダム周辺の周遊観光」という記入がありますが、R2年3月に出された官民連携手法検討調査業務委託報告書を受けての事業に着手するという事ですか？報告書の84ページで宇治市への事業効果観光客数約19万人、観光消費額約16億円、宿泊者数約5万人を見込み、「富裕層インバウンド観光客向けのホテルであれば宿泊者数の増加や観光消費額の増加への寄与が期待できる」と旧志津川発電所の利活用を提案していますが、市の財政負担はとても大きいのではないですか？それによって私達市民生活の質の向上が図られるとはとても思えないので、将来都市構造図からは「天ヶ瀬ダム周辺の周遊観光」を削除してください。</p>	<p>“都市づくりの基本目標”に宇治らしさを活かした選ばれる都市づくりを進めるとしており、豊かな自然環境や歴史的資産など宇治らしさを活かしたまちづくりを進めることで、まちのにぎわいや人の交流の促進につなげていく必要があります。</p> <p>自然環境に恵まれた「天ヶ瀬ダム周辺」を活かしていきたいと考え記載しておりますが、具体的な方針については検討中です。</p>	無
42	<p>「天ヶ瀬ダム周辺の周遊観光」事業を官民連携でという計画は絶対反対です。宇治歴史公園事業に88億円使う為にどれだけ市民生活が犠牲になっているか反省して下さい。西小倉の乗り合いタクシーは補助金カットでつぶされ、中学校給食の一步も進まず、集会所、ふれあいセンターはつぶされ跡地売却、コロナ禍ソーシャルディスタンスのとれる教育すら保障されず・・・税金の使い方がまちがっています。天ヶ瀬ダム観光でもうかるからというのなら、官民でやるのではなく、民にまかせるべきです。富裕層向けのホテル建設の為に税金を使わないで下さい。</p>		無
43	<p>「市政だより」マスタープラン意見募集の中の将来都市構造図には記入されていなかった『天ヶ瀬ダム周辺の周遊観光』に出されている富裕層向けホテル、これはコロナ後の将来の生活様式、社会経済情勢を考えた時一番無駄な、将来の人達に負の資産残す一番悪い残したくない建物と言えます。この様な市民が望まないものはすぐにとり止めるべきです。</p>		無
44	<p>天ヶ瀬ダム周辺のホテルや周遊観光は必要ですか。 市民が願っていない所へ税金を使っているのではないですか。</p>		無
45	<p>将来都市構造図を見ると農業生産ゾーンに産業立地検討エリアのマークがあるが、「身近なみどりを守る」という基本目標に反すると思う。全体に農業に関する目標がぬけている。「茶業など資源を活用した個性ある都市づくりを目指す」とあるが最近もあちこちで茶畑がなくなって宅地などになっている。</p>	<p>今回3か所に「産業立地検討エリア」を設けましたが、周辺は農地や山林エリアである為、周辺の土地利用と調和を図りながら、計画的かつ適正な土地利用を検討し、工業と農業のバランスのとれた成長、発展に向け進めて行きます。</p>	無

④ 全体構想（部門別方針）			
46	宇治市は東側が山林、西側は巨椋池干拓地ということもあって可住地面積が少ない為、近鉄沿線を筆頭に宇治エリア以外の鉄道沿線の高さ規制を緩和して、高層ビルを建築できるようにすべき。	ご提案のとおり、土地利用の基本方針では、駅周辺の商業・業務地から郊外に向かい落ち着きのある低層住宅地へ誘導しております。一方で、高齢化の進行に伴い、これまでの郊外（丘陵地）のライフスタイルにも課題が出てきております。 人口減少・少子高齢社会の進行している中、頂きましたご意見も踏まえ、将来を見据えた新たな魅力の創出の検討も必要であると考えます。	無
47	田、森林等は洪水対策に残し、その為には生業（なりわい）に税金使う。安心、安全に住み続けられる町。	農地の土地利用については、素案p48などに基本的方針をお示しておりますが、具体的な農業施策に関して今後の参考とさせていただくため、農政部署と情報共有を図ります。	無
48	従来よりも、農業がさらに重視されつつありますが、都市計画全体に、農業の推進を盛り込むべきです。衰退の一途をたどっており、難しいかもしれませんが、このままでは壊滅的です。		無
49	巨椋池干拓田は、京滋バイパスができて野鳥の種類が半減しましたが、それでも緑の田は自然のダムともいわれ、空気をきれいにする働きもしています。そこに規制を外して工場をたてるとか、産業立地検討エリアに入っているのではと不安です。	今回3か所に「産業立地検討エリア」を設けましたが、周辺は農地や山林エリアである為、周辺の土地利用と調和を図りながら、計画的かつ適正な土地利用を検討し、工業と農業のバランスのとれた成長、発展に向け進めて行きます。	無
50	道路幅が狭い、歩道の問題は宇治の街として仕方のない部分はあるが、一方通行箇所を増やして、幅の確保を図っては。	交通安全対策として効果ある対応と考えます。 地域のご理解が得られれば公安委員会と調整いたします。	無
51	鉄道網だけでなく鉄道まで行く為の交通体系を整えるべきです。	現在、宇治市公共交通体系基本計画を策定しているところであり、都市計画マスタープランにおいても、“交通の基本的方針”に新たに、社会的ニーズの変化を踏まえ市民生活を支える公共交通体系をめざします、と記載しました。	無
52	快適に暮らせる都市づくりにかかせない、交通問題は交通ネットワークの言葉だけで具体的にどのように考えているのか書かれていないのです。		無
53	<交通の基本方針> ◎自転車ルート整備 理由 ~今、自転車は新型コロナ禍で密を避けて移動できる交通手段として注目される	本計画においても素案p49の交通の基本的方針で「すべての人にやさしく歩くことが楽しくなる環境整備に努めます」に示しておりますように、歩行者・自転車の安全性・快適性の向上に努めてまいりたいと考えております。	無
54	現在、少しずつ道路の拡幅を進めておられるようですが、その目的や計画や、基準の詳細が市内住民に周知されておらず、不明なまま	都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものです。頂きましたご意見は、道路関係部署と情報	無

	です。まず、それら周知をお願いいたします。	共有を図ります。	
55	<p>道路の幅、もしくは都市計画全体に関わることでありますが、以下の観点にも留意すべきだと思います。</p> <p>○生活環境に関しては、道路は自動車優先に考えず、様々な幅のものが混在しているのが良いと考えられるようになって来ています。</p> <p>○電気自動車が普及して行く可能性が高いですが、電気自動車はガソリン車に比べて、かなり小型化が出来るので、道幅もそれに合わせられます。</p> <p>○将来的に、リモートワーク、また、カー・シェアリングが進むとしますと、自動車の交通量が減少することも考えられます。ただし、逆の場合もあり得ますので、上記を念頭に置いた交通量の調査と予測が必要だと思います。</p>	<p>道路の構造につきましては、国により安全性などを踏まえ道路構造令などの基準が示されております。</p> <p>また、将来交通量の予測も国の基準に基づき実施しております。</p> <p>これからの道路のありかたについてのご意見は、国の動向を注視してまいります。</p>	無
56	「利便性の高い交通体系」とあるが、この間バス路線はどんどん縮小されてきた。もう少し具体的な目標がほしい。高齢化の中で大きな課題である。	“交通の基本的方針”の公共交通では、市民生活を支える公共交通体系をめざすとしており、バス路線の維持に向け、モビリティ・マネジメントにより過度な自動車利用から既存公共交通の適切な利用へのシフトを促すなど利用促進に努めます。	無
57	交通についてー主な交通はJR・近鉄ですが、西小倉のはしっこからは、老人の足で30分かかります。自転車に乗れなくなったらどうしようと不安です。早急にデマンドタクシーかコミュニティバスの充実を切望します。高齢者が増えることが悪いのかのような政治で腹立たしいです。高齢者にやさしい町は、若者、子育て世代にも暮らしやすい町です。	“交通の基本的方針”の公共交通では、市民生活を支える公共交通体系をめざすとしており、高齢化の進行に伴い移動が困難な高齢者が増加する社会的ニーズの変化を踏まえ、既存公共交通を基盤とした新たな移動ニーズへの対応の検討を進めます。	無
58	「公園・緑地」の「みどり豊かな自然的環境を保全」することには、全面的に賛成致します。しかし、「東部山地の辺縁部」や「宇治公園周辺」はもちろんの場所ながら、それ以外にも点在する多くの小さい緑地などにも注目し、それを保全し、場合によっては新しく作ることも必要でしょう。北部地域の例をほんの少し挙げるだけでも、数多く存在する宇治陵や、御蔵山聖天・木幡池・二子塚古墳公園などは、中心になり得るし、またそうすべきところです。ただその場合、間違っても＜都市公園＞的な整備をするのは、絶対に止めて頂くことが必須でしょう。さらには、各住宅などに点在する庭も、生きものの動く回廊などとしても重要ですから、それを維持・	“都市環境の基本的方針”「身近にある自然が感じられる都市環境をめざします」に示しております通り、公園、河川、道路、住宅の庭も含めて、豊かな自然環境とふれあう場をつくることで、その恩恵を感じる機会を創出し、市民の暮らしを豊かにする都市環境をめざすとしております。	無

	発展させて下さるのを奨励するなど、重要な施策になるかと存じます。		
59	「都市環境」について、私も住んでいます、いわゆるマンションなどについて、その建設に対して必要な処置を講じさせ、また、すでに建設されてしまっているものについても、適当な措置を行なわせるべきであると存じます。細かいことですが、「新エネルギーの採用」に当たっては、既設のマンションの屋上にも、太陽光発電の設備などを新しく作らせるよう、指導すべきだと思います。	頂きました資源エネルギーに関するご意見について、京都府地球温暖化対策条例及び京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例により、ある一定の規模以上の建築物の新築及び増築時に、新たに再生可能エネルギーの導入等を求めており、この条例に基づき推進していきます。	無
60	『資源エネルギーを有効に活用できる都市環境』（素案より）市部の公共の屋上、都市部の企業のビル・工場の屋上、都市部のマンション・個人の屋根や屋上に太陽光パネル設置をし、再生可能エネルギーを確保、CO2削減。その為の設置条例などを積極的につくる。その為の補助金のあり方を検討する。		無
61	＜都市環境の基本方針＞ ◎脱炭素社会に向けた取り組み 具体例 ～使い終わったペットボトルを資源に再びペットボトルに戻す「ボトルtoボトル」の事業を重要な活動に位置づける。	宇治市では、市民、事業者、行政の連携・協働による3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、環境への負荷が少ない循環型社会の構築を目指しています。	無
62	「都市防災」は、「避難場所の確保」や「ライフラインの機能強化」が書かれており、それ自体は極めて重要な、第一義的なことと存じます。究極的に重要な問題は、＜平生＞はいくらか不便をしても緊急事態に備えるようにするか、それともいわゆる＜平生＞のほうに重点をおくか、この2者の選択問題になるでしょう。これは、理論的にはもちろん、過去の歴史に照らしても明らかだと存じます。宇治市としては、この選択肢に関して、市民を巻き込んでどのように対処するかが、政治的かつ行政的に強く問われることになり、従って、その方向を明らかにして頂くべきだと思います。	本市は地形上、水害リスクが高く、また活断層があり地震災害のリスクがあるなど複合的な災害リスクに対処する必要があります。 本計画の素案p30の基本目標「災害的に総合リスクに対応できる都市づくり」に示しているとおり、災害リスクの情報を共有したうえで防災・減災対策を実施し、多様な災害リスクと共存しながら安全・安心して住み続けられる都市づくりをめざしてまいりたいと考えております。	無
63	避難場所に関して 災害の種類に応じて作る必要がある。震災と水害では避難できる場所が変わってくるため、水害の場合は低地は避難場所にはならない。震災ではできるだけ広い場所が確保できること、安全にたどり着けるようにする。 南海トラフ地震の場合、津波の規模にもよるが、八幡を突破されたら西宇治地区は全滅する。男山と天王山の間は2km程度あるだろう	“都市防災の基本的方針”に災害リスクを踏まえたまちづくりを進めるとしており、ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努め、災害リスクを踏まえた上で災害時に安全で速やかな避難や応急・復旧活動に対応できるまちづくりをめざします。 また指定緊急避難所では、洪水、崖崩れ、土石流、地滑り、地震といった災害の種類の対応も示しております。	無

	か、これだけあれば、防波堤としては働いてくれない。		
64	「都市景観」に関し「親しみのある景観づくりに努める」とありますが、「親しみのある」と言うものが、人によって甚だしい違いのあることは、例えば、<里山>として何を思い、何を指すかについて、大きな議論のあることから見ても、明らかな事実でしょう。従って、どのようなものが宇治市民にとって、「親しみのある」ものなのか、議論を進めることが必須です。私は、宇治市の<自然を活かした歴史的・文化的景観>を大切にすることが極めて重要であり、例えば、パリ近郊のヴェルサイユのようなものは、モデルの1つになるのではないかと、考えております。この愚見はともかく、少なくとも議論をすぐにでも巻き起こす必要があることと存じます。	“都市景観の基本的方針”の良好で質の高い都市景観の形成を進めるとしており、これまで宇治市まちづくり・景観条例、宇治市景観計画や史跡・名勝、重要文化景観などで議論した経過を踏まえ、自然を活かした歴史的・文化的景観の保全を進めるとしております。	無
65	宇治エリアの景観保護条例を強化し、進出してくるコンビニ等の看板の色を黒や白をベースにし、景観をグレードアップさせるべき。	平成20年に「宇治市景観計画」、平成22年に「宇治市屋外広告物条例」を策定し、地域の特性に応じた景観の形成に努めており、宇治橋周辺は特に配慮すべき区域として景観保全に取り組んでおります。	無
66	『歴史・文化が調和した良好なまちの景観づくり』（素案より） ・宇治中地区の三角ルート <small>の</small> 景観を良くする（宇治橋通り商店街など） 土日祝は10時から17時歩行者のみ通行できるルートにし、市民、観光客の人に楽しんでもらう。 ・古風な町屋を多くする	頂きましたご意見を今後のまちづくりの参考とさせていただくため、関係部署と情報共有を図ります。	無
67	他の公共施設の基本的方針（水道・学校など）の項目で「学校を核とした地域づくり」をめざすことは大賛成ですが、コロナ禍によって密を避け、子ども達の安全・安心の学びの場と地域住民のコミュニティ活動と災害時の避難場所ともなる公共の場としての学校を再認識させられた今、小中一貫校の整備ではなく、子どもも高齢者もケアされる学校として施設整備を望みます。	頂きましたご意見を今後の市政運営の参考とさせていただくため、関係部署と情報共有を図ります。	無
68	公共施設の基本的方針「地域と共にある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」をめざすなら子供達、住民に負担の大きい「小、中一貫校整備」はこれ（基本理念）に反すると思います。	頂きましたご意見を今後の市政運営の参考とさせていただくため、関係部署と情報共有を図ります。	無

69	「将来の水需要に対応した整備に努め、効率的、効果的な水道事業」とあるが災害時のリスクの分散化のため地域の浄化場や井戸などを守る必要があると思う。効率、効果にとられないでほしい。	宇治市水道ビジョン・経営戦略では、「安全な水道水の確実かつ持続的な供給」を基本理念とし、「安全で安心できる水道」、「強靱で災害に強くたくましい水道」、「将来にわたって持続可能な水道」という3つの基本方針を掲げ、水道施設の更新や耐震化を推進しながら、効率的な健全経営を目指し、将来にわたって持続可能な水道事業の運営を図ります」としており、丁寧な説明となるよう追記します。	有
70	将来の水需要に対応した整備に努め、効率的、効果的な水道事業の運営を図ります。と書いてありますが、くわしいことがよくわかりません。近くの西小倉浄水場から夏は冷たく冬は暖かい水道水で水道の水もおいしいです。災害時も地下水は止らず同じ西小倉地域でも断水したところへ水を運びました。将来の水需要が減ったとしても災害リスク分散から西小倉浄水場は必ず存続してほしいと切に願っています。		
⑤ その他			
71	府内外から移住してきてもらうために、若い世代が好む、ユニクロや無印良品、GU、スターバックスといった 巨大有名チェーン店を誘致すべき。	ご意見を今後のまちづくりの参考とさせていただくため、関係部署と情報共有を図ります。	無
72	地方交付税に依存しない自治体になるべき。隣の久御山から学ぶべき。京都市が財政再生団体になる可能性は大いにあり、そうなる前に何かしらの対策を講じなければならない。	宇治市では、将来世代に負担を先送りすることのないよう、健全かつ持続可能な財政運営を図るべく、財政健全化推進プランに取り組んでいます。	無
73	「住んでよし、訪れてよし」はなやか宇治へ。観光都市を目指す宇治「景観は究極の観光資源」と建築家の隈研吾氏が言っています。都市計画一つで豊かな街になり資産価値向上につながると言える。	“都市景観の基本的方針”の良好で質の高い都市景観の形成を進めるとしており、宇治市まちづくり・景観条例、宇治市景観計画や史跡・名勝その他既存制度の活用により、自然を活かした歴史的・文化的景観の保全を進めております。	無
74	この「全体構想」はあまりにも抽象的に過ぎて、日本中、いや、地球上のどこでも成立するような、一般的なものに止まっており、具体的内容の極めて少ないもののように、感じざるを得ません。「それは今後具体化するのだ」とおっしゃるかもしれませんが、2021年時点で宇治市役所当局が作成される「計画マスタープラン」として相応しいものとは、どうしても受け取れませんでした。	本計画は、本市の都市計画に関する基本的な方針を示すものであり、都市計画に関連する各分野の個別計画が実施計画にあたります。 目指す将来都市構造の実現に向け個別・関連計画と連携を図るとともに、関係部局や市民・事業者・行政の協働により推進してまいります。	無

75	<p>みどり豊かな東部の山間部は、市内の西側(宇治郵便局横の道路でも)から喜撰山方面を見ると、大きく山が削られた赤土の山肌がハッキリと見てとれ、景観上もプランで言われている良好な自然環境などあてはまらない状況である。(一度関係者で採石現場の状況を見るべきではないか)</p> <p>当然、この山の採石によって大きく削られた山肌からは、強めの雨が降れば赤土が流れ出し、構内の調整池から溢れ出した泥水で志津川だけでなく、宇治川まで茶色に染まるほど汚染されることがある。(最近志津川の魚も減少しているのでは?)</p> <p>採石を運搬するダンパーにより道路は雨が降れば泥はね、乾けば埃が舞い上がり地域住民の日常生活にも大きな影響をおよぼしている。また、晴天が続けば採石場周辺は埃にまみれ緑の葉が灰色かかった状況である。異常気象による豪雨等で採石現場が崩壊すれば大きな災害に発展する可能性もあるのでは。(防災・減災対策面からも無視できない)</p> <p>このような状態で「宇治に住む誇りと愛着を育む都市景観の形成」や「水とみどりのネットワークの形成」が可能なのか? 現実に目の前にある出来事を全く無視した提起は都市計画の方向性を誤ることにならないか。</p>	<p>東部山間地域は、宇治川の上流を中心に豊かな自然が残された地域であり、農地や山地などは自然的土地利用の保全を基本としながら、良好な生活環境の維持・保全に努めていきます。</p> <p>また、ご意見の採石場につきましては、関係する法令の許可基準を踏まえて事業を行われており、採掘が完了した跡地は、原則として順次緑化されることとなっております。</p>	無
76	<p>審議会のあり方について。パブコメを募集する直前の審議会傍聴を中止にするのはいかがなものか。代替措置を用意して市民にも審議会の内容がわかる状態(審議会)にしてパブコメを開始すべき。宇治第二上位の計画を市民が知る術がない。一部の人で意思決定を行わないでほしい。大多数の無関心市民が関心を持てる取り組みを。パブコメの募集人数に目標設定を。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言下において、接触機会を減らし、市民の皆さまの移動抑制を図る必要があったことなどからご指摘の対応とさせて頂きました。より多くの市民の皆さまにご確認頂きたいと考えており、秋頃にはまちづくりオープンハウスや意見交換会を開催し、広く都市計画マスタープランを知っていただく機会を設けるとともに意見交換を行っていきます。</p> <p>またご意見は強制するものではないため、目標は設定しておりません。</p>	無
77	<p>道路(車道・歩道の起伏の多さはひどい。日本は先進国ではないと感じさせる)</p> <p>雑草の未処理等は途上国を旅行している気分になる。</p>	<p>ご意見を今後のまちづくりの参考とさせていただくため、関係部署と情報共有を図ります。</p>	無

78	人口減少（労働人口減少）について 18歳～学生、主婦の方、60才以上で退職された方、その他専門的な知識、資格を持っている方（年齢は問わない）は、業種によって短時間労働を求めているのでは！市としても働くことに意義を見つけてあげるように！ 人材活用も資源活用と同じく大切に！	頂きましたご意見は、社会情勢の変化や生活スタイルの変化などから働き方が多様化している状況であることから、今後の市政運営の参考とさせていただきます。	無
79	農地について 米作農地は大きく減らす方向で！→各種の野菜関係に！米作では農機具代、肥料代、農薬代で労働代価に合わない！会社組織としてやる方法を推奨したらどうか！若い人達が入れるように。	若い世代の農業従事人口を増やすご意見について、今後のまちづくりの参考とさせていただくため、農政部局と情報共有を図ります。	無
80	経営が成り立たない事業の公営化 コロナ渦において、自粛や客の減少により経営が成り立たないところが増える。このコロナが短期間に終わるとは考えられない。職人が経営するのは無理がある。 経営は経営のプロに任せるのが一番いい。市営にすることで、補助金をつぎ込む必要がなくなるし、収益は市が受けることができる。株式会社に近いような自治体の在り方が必要になる。税を徴収する、国から資金を供与されて自治体を運営する時代は終わった。	頂きましたご意見のような柔軟な発想を持って市政運営を図るよう、関係部署にお伝えいたします。	無
81	研究開発プロジェクトへの投資 今後、研究開発に関しては、プロジェクト制が中心になるだろう。優秀な人材を集めて研究開発をさせる。事務局を設けて、資金管理を行わせる。	頂きましたご意見のような柔軟な発想を持って市政運営を図るよう、関係部署にお伝えいたします。	無
82	業務のスリム化 殆どの役所の業務はAI化できる そもそも、正確を要する業務には人間よりもAIの方が優れていることは言うまでもない	都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものです。 頂きましたご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきます。	無
83	小学校と中学校を一緒にして公教育を安あがりにしていくのは止めて下さい。統合すれば国庫負担が1/2になる、ランニングコストが削減できる、学校の敷地の売却、転用等々考えておられるのですが、人を育てる為のお金をケチらないで下さい。「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を言われるのなら、もっと声を聞いて下さい。統合が必要というなら小学校は小学校で、中学校は中学校で考えて下さい。	宇治市では全市立小中学校において義務教育9年間を通して児童、生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行うことにより、小中一貫教育の推進に努めております。 小中一貫校に関して頂きました様々なご意見は、教育部署にお伝えいたします。	無

84	<p>小中一貫校について いいことだと思うが、9年の長きにわたり、人間関係が固定されてしまうという弊害がある。実施するなら小規模の学校でないと、いじめの温床にもなる恐れがある。実施するなら、大通りや踏切を渡るというのは極力なくすべき。登校班を作る際、現行では小学校6年分であるからいいが、中学3年と小学1年では体力差がかなり大きくなる。</p>	<p>宇治市では全市立小中学校において義務教育9年間を通して児童、生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行うことにより、小中一貫教育の推進に努めております。 小中一貫校に関して頂きました様々なご意見は、教育部署にお伝えいたします。</p>	無
85	<p>学校に行かない自由と多様化に対応する教育体制 昭和までの時代と違い、今は学校がなくても学べる機会も増えている。勉強したくない人間に無理強いしても身につかなければ意味がない。朝が苦手な子供もいるし、夜に活発に活動できる子供もいるだろう。知識を与えるならば、動画を使えばいい。それなら全国どこでも均質の内容を享受できる。更に、やりたい時にやりたいだけ学ぶことが可能になる。この発想に至ったのは、甥っ子の宿題だったかだっただろうと思うが、教師は課題という作業をさせたいのか、課題によって学ばせたいのかということに疑問を感じた次第である。ある意味、教育という名のもとのいじめにもなる。 今後、社会にべったりとなる必要が薄れてくる中、社会性を身に着ける必要がなくなるのではないか。リモートワークが普及するようになれば、それで事足りるようになる。会議をするわけでもないイベントなんかは地域で行えばいい。そうすることで、児童生徒にかかわらず、地域住民皆が参加できる仕組みにもなる。欧州のように地域でスポーツクラブを充実させるのもいいと思う。やりたい人だけが行う。スポーツテストは年に1回ないし複数回必要であるが、人と比べてやる気を失せてしまっただけでは意味がない。自分ペースで行うというのもありである。 勿論、学校に行きたい子供には学校を開放する必要はある。そうなれば、人数も減るので、協力していかないと立ち行かなくなる。実は、協力していかないと立ち行かなくなるということが人類社会に求められることである。人数が減ることによってそういう状況が生み出されれば、少子高齢化、人口減少社会へのヒントが得られるのではないか。 これからはスペシャリストを多く輩出しなければ立ち行かなくな</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものです。 頂きましたご意見は、教育部署にお伝えいたします。</p>	無

	<p>る。昭和時代のように均質な労働力を生み出すのでは機械にも劣る時代である。もっと、いろんなことを目指せるようなコースを設けるべきである。あとは、いつでも学びを始められる体制。気づいてやろうと思った時が学問を始めるに適した時期である。多くの人が阻まれてきたのではないか？</p>		
86	<p>学校統廃合については、以前の設置基準をコロナ後の新しい生活様式に合わせて、検討してほしい。現実の子育て世代への説明が全くないのでは？机上の計算ではなく、現場の子どもたちの実態をしっかりつかんでほしい。放課後の中学生のクラブ、小学生のあそびの保証を。又、地域の人たちがこれまで利用し、集う拠点となっている運動場の使用についても考慮して今ある小学校は、何らかの形で生かしてほしい。</p>	<p>ご意見を今後の市政運営の参考とさせていただくため、関係部署と情報共有を図ります。</p>	無
87	<p>諸税の廃止とベーシックインカムの導入 生活保護の場合は特定の人物だけが恩恵を受けるので不公平感が出る。しかも、これがセーフティネットになっているとはいえないがたい。 ベーシックインカムの場合は、すべての国民に平等に分け与えられる。不公平感はなくなる。財源は国が事業で稼ぐ、速やかに実践すべき。2030年までやらないならば時代遅れといわれるようになるだろう。</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものです。 ご提案頂いた内容は、国の施策とありますのでご理解願います。</p>	無
88	<p>野菜工場の設立と豊作時の収穫物の備蓄 気候変動により、野菜が高騰したり、逆に余り過ぎて廃棄されるというのを目にする。コロナ渦で需要が落ち込む場合もある。 食糧難の時代に、食料を廃棄すること自体狂気の沙汰も甚だしい。こういう状況を続けるなら、世界中から日本は滅びてほしい、金に切れ目が縁の切れ目ということになるだろう。 企業は営利組織であるが、自治体はそうではない。今後、担い手も少なくなるし、更には、新規就農者は最新の技術を持って行うことになるだろう。安定供給と価格の安定を目指すにも、廃棄をなくすにもこれは必要不可欠である。</p>	<p>本市の農業施策についてのご意見ですので、今後のまちづくりの参考とさせていただくため、関係部署と情報共有を図ります。</p>	無
89	<p>生ごみの堆肥化 ごみ削減で重要なのは堆肥化である。私は20世紀の世界から既に始めている。ごみを燃やすにも費用が掛かる。それを堆肥化すれば少</p>	<p>“都市環境の基本的方針”の資源・エネルギーを有効に活用できる都市環境をめざすとしており、限りある資源を有効に活用するためリサイクルの推進に努めるとしてあります。</p>	無

	なくとも処分費はかからない。人をあてがうのはこれから考える必要があるが。		
90	一人乗り小型車の普及、自転車二輪車の推進 自転車乗りの立場から見て、体1つを運ぶのに1tもある鉄の塊を動かす必要がどこにあるのだと思う。体を運ぶなら10kgそこそこの自転車で十分。短い距離ならそれも必要ない。	本計画においても素案p49の交通の基本的方針で「すべての人にやさしく歩くことが楽しくなる環境整備に努めます」に示しておりますように、歩行者・自転車の安全性・快適性の向上に努めてまいりたいと考えております。	無
91	宇治市再開発提案 宇治川ライン（旧ガーデンズ天ヶ瀬）周辺に観光客が周遊できる方法をとる。 ・少なくとも宇治市の中心に観光してもらおう ・宇治橋通り ・ループして中心部に移動（かつてのおとぎ電車で京阪宇治駅から石山駅までの宇治川ライン周遊コース） ・市内に宿泊してもらおう ・観光客を宇治中心部に移動させ、買物、宿泊を行う。宇治市役所などを宿泊、買物可能な施設にする。	“都市づくりの基本目標”に宇治らしさを活かした選ばれる都市づくりを進めるとしており、豊かな自然環境や歴史的資産など宇治らしさを活かしたまちづくりを進めることで、まちのにぎわいや人の交流の促進につなげていく必要があります。 自然環境に恵まれた「天ヶ瀬ダム周辺」を活かしていきたいと考え記載しておりますが、具体的な方針については検討中です。	無
92	都市環境を整え快適な景観づくりを推進する上で、まず第一に対策が必要なのは夏場（今年は4月から）に大量発生するトビケラ対策だと思います。特に宇治橋～（なぜか川東で川面にはあまりみかけません）京阪宇治駅～三室戸周辺では生活に影響が出るほどです。夕刻になるとトビケラが乱舞し、宇治橋ではマスクにまでまとわりつく事、近辺の住宅や店舗は壁にびっしりくっつく虫のため外灯をつけられない事、無数の虫の死骸の掃き掃除をしなければならない事、スーパーや食べ物屋さんが苦勞されている事を都市整備部ひいては宇治市長様は理解・把握して下さっているのでしょうか。 友人や姪が観光に来た時、トビケラに遭遇し、こんな所には住みたくないわーというのを聞いて悲しい思いをしたこともあります。市として駆除はされていると聞き及んでいますが、もっと抜本的な対策が早急に必要だと思います。長年宇治に住みこよなく宇治を愛する住民として節にお願い申し上げます。快適な環境があつてこそその将来都市計画だと思います。	都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものです。 トビケラ対策の関係部署と情報共有を図ります。	無

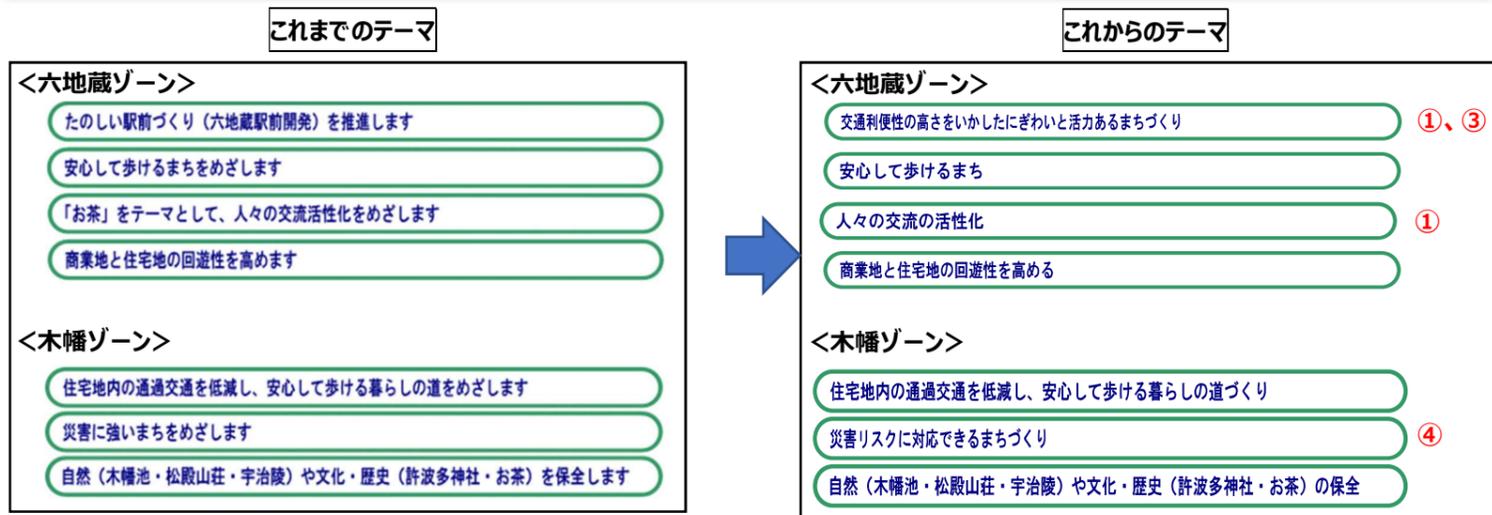
地域別構想（部会原案） 概要版

1. 六地蔵地域

■ これからの地域づくりの主な課題 (p64)

- ① 商業ニーズの変化、住宅ニーズの増大、ホテル撤退など文化交流機能の低下等の市民ニーズの変化を踏まえ、広域的な交通結節点としてのにぎわいのあり方の検討が必要です。
- ② 丘陵地の低層住宅専用地域では良好な住環境保全のため日常の買物・サービス店舗の立地が規制されており、市民ニーズを踏まえた検討が必要です。
- ③ 交通結節性の充実をいかしたまちの魅力の維持・向上のため隣接する京都市との一体性や相互効果によるまちの強化が必要です。
- ④ 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。
- ⑤ 御蔵山周辺の緑ゆたかで閑静な住宅地を維持し、住民の快適で安全な生活や、六地蔵周辺の都市機能と生活環境の向上を図り、安全かつ快適で文化的なまちづくりなどパートナーシップによる将来のまちの姿の共有し実現していく事が重要です。

■ これからの地域づくりのテーマ (案) (p65)



■ 地域づくりの基本方針 (案) (p65~p68)

【土地利用の方針】

(1) 住宅地 ② (高齢化の進展等による住宅地の形成のあり方)

● 快適な生活環境を有する住宅地の形成

良好な低層住宅地では住環境を保護するという目的を考慮しつつ、高齢化の進展等による身近な買物・サービス施設の必要性など市民ニーズを踏まえ、立地の妥当性、周辺環境への影響を考慮した総合的な住宅地の形成を検討します。

(2) 商業地 ①、③ (広域的な交通結節点としてのにぎわいのあり方)

● 北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出

連携拠点として、鉄道駅と連携した快適な歩行空間の充実を図るなど、回遊できるまちづくりに努め、市民の商業ニーズの変化を踏まえ地域の特性を生かした魅力ある商業・業務集積を誘導します。

京都市域と一体となった業務、住宅などのまちなみを形成していることから、相互効果が期待できるよう地区計画等を活用し、本市の北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出を検討します。

【交通の方針】

(1) 公共交通 ①、③ (まちづくりと一体となった交通結節点機能の向上)

● 多様な鉄道網をいかした交通結節機能の強化と公共交通の利用促進

JR、京阪および地下鉄がより一層便利で安全に利用できるよう JR 奈良線の複線化及び JR 六地蔵駅の改築など既存公共交通を基盤とした利用促進を図ることで、まちづくりと一体となった交通結節点機能の向上に向けた取り組みを進めます。

(2) 道路 ① 幹線道路 ①、③ (まちづくりを支援する道路ネットワーク)

● 幹線道路の渋滞の緩和

主要地方道京都宇治線や京都市道外環状線の渋滞緩和を図るための道路ネットワークの充実を進めるとともに、主要地方道京都宇治線及び主要地方道大津宇治線については、交通結節点としての歩行者の安全性の確保やまちづくりとの連携のため整備・改良を関係機関と協力して進めています。

【都市防災の方針】

● 浸水に対する防災機能強化 ④ (防災・減災対策の強化)

近年の気候変動に対応できるよう堂の川をはじめとする河川・水路の改良を計画的に進めます。

また、木幡池は遊水地として治水上重要な役割をもっていることから、今後、関係機関と連携を図り、治水上の調整機能の維持・向上を図るなど治水対策に努めます。

● 災害リスクの情報共有 ④ (災害リスクを認識した上でのまちづくり)

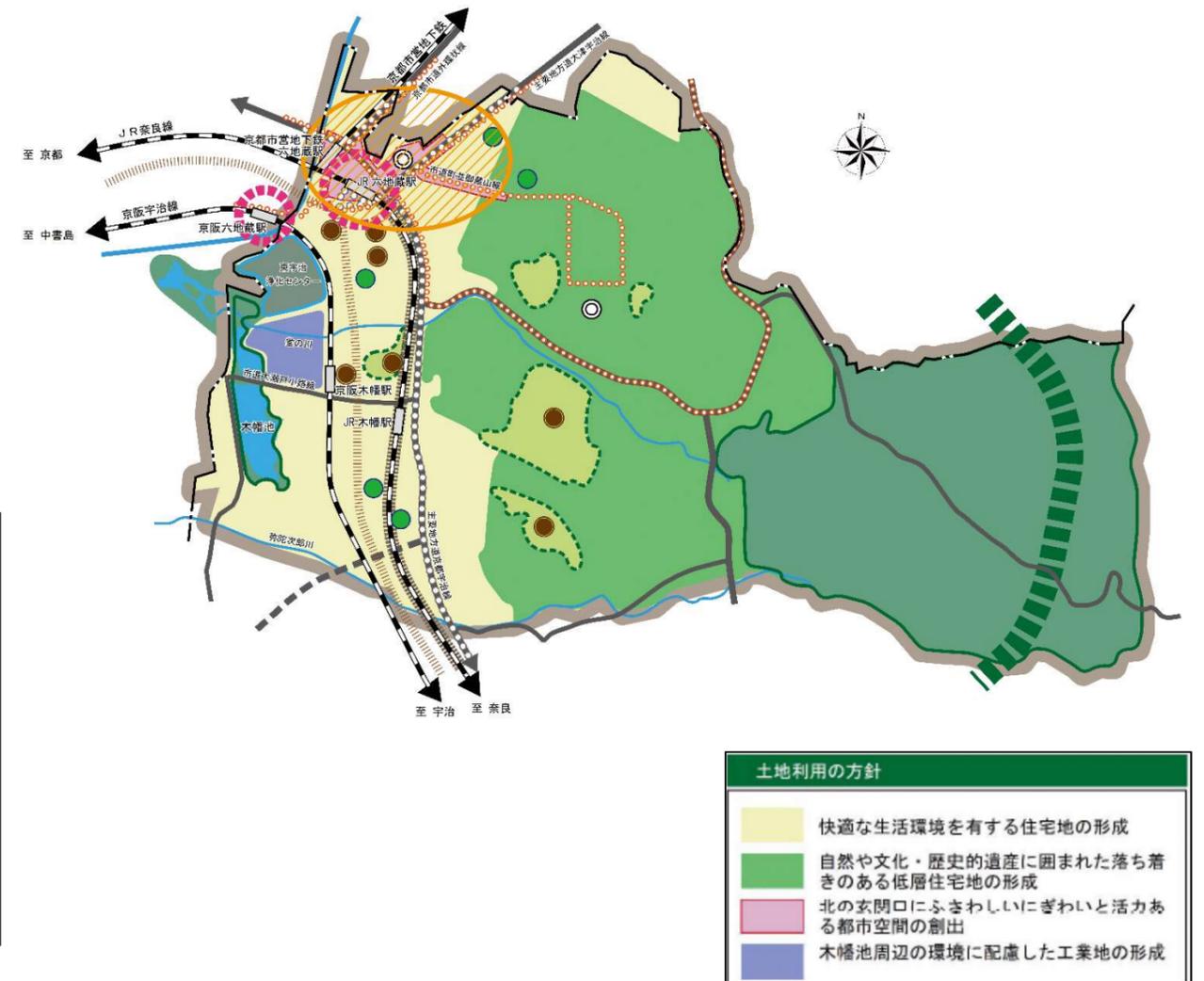
地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

【まちづくり活動の方針】

● パートナーシップによるまちづくり活動の推進 ⑤ (地域がめざすまちの姿の共有)

地域の将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動を支援します。

■ 地域づくりの基本方針図 (案) (p69)

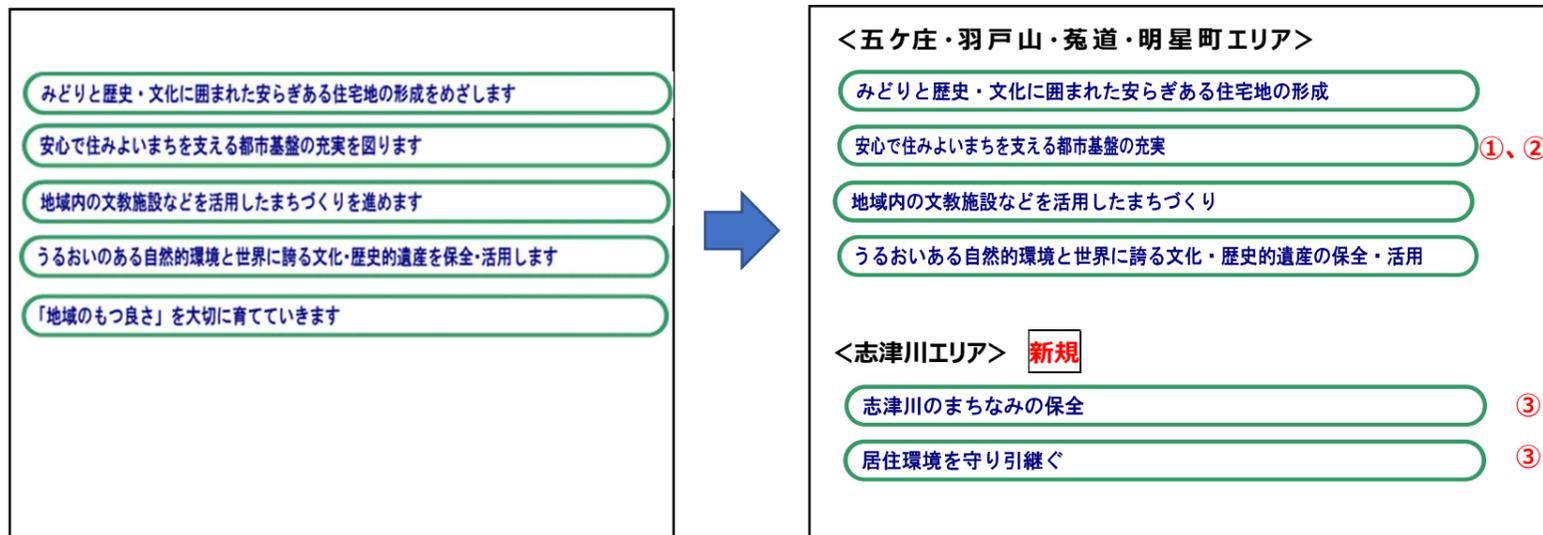


2. 黄檗地域

■ これからの地域づくりの主な課題 (p72)

- ① J R 黄檗駅のバリアフリー化は奈良方面のみであり駅構内バリアフリー化の取り組みが必要です。
- ② 地域内には黄檗断層が存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。
- ③ 志津川地区の緑豊かな美しい自然をいかし、生涯助け合って生きていけるまちづくりや、明星町地区の住環境を良好に保ち健康で安心できる、安全で住んでよかったと思えるまちづくりなど将来のまちの姿を共有できるパートナーシップによるまちづくりの継続が必要です。

■ これからの地域づくりのテーマ (案) (p72)



■ 地域づくりの基本方針 (案) (p73~p76)

【土地利用の方針】

(4) 山間集落地

● 落ち着いたたたずまいをもつ農業集落地の維持・保全

③ (市街化調整区域の維持や秩序ある発展)

志津川に点在する農業集落や既存の住宅地は、風情ある蔵の風景や屋敷内のみどり、生垣などのみどりが多く落ち着いたたたずまいをもっており、市街化を抑制すべき区域であるという市街化調整区域の性格を変えない範囲で引き続きこれら居住環境の維持や秩序ある発展など地域振興に向けたまちづくりに努めます。

【交通の方針】

(1) 公共交通

● 鉄道などの公共交通の充実 ① (交通結節機能の維持向上)

JR 奈良線複線化の第二期事業の完成により定時性の確保や安全性の向上が図られることから、その事業効果を踏まえつつ、JR や京阪のさらなる利用促進や利便性向上について、引き続き研究します。

また、JR 黄檗駅及び駅周辺のバリアフリー化に取組み、交通結節点機能の向上に努めます。

【都市防災の方針】

● 災害リスクの情報共有 ② (災害リスクを認識した上でのまちづくり)

地域内には、黄檗断層があり、西部には浸水想定区域が位置するなど災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と地震や浸水、土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

【まちづくり活動の方針】

● パートナーシップによる将来のまちの姿の共有

③ (地域がめざすまちの姿の共有)

住民によるまちづくり活動としては、志津川地区では緑豊かな美しい自然をいかし、生涯助け合って生きていけるまちづくりをめざしています。また、明星町地区では住環境を良好に保ち健康で安心できる、安全で住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて取り組んでいます。宇治市では、こうした地域の将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動を支援します。

■ 地域づくりの基本方針図 (案) (p77)

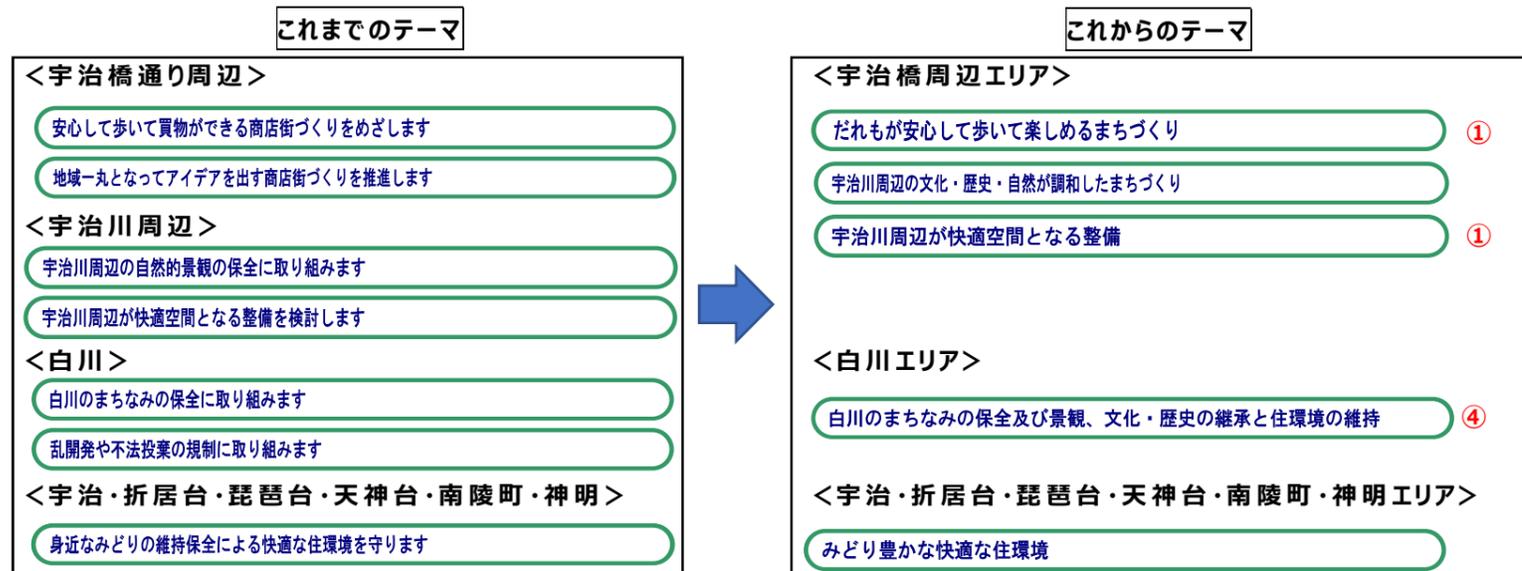


3. 宇治地域

■ これからの地域づくりの主な課題 (p80)

- ① JR 宇治駅・京阪宇治駅周辺のエリアでは観光客も地域住民も楽しめるまちの魅力の向上の検討が必要です。
- ② 宇治橋（主要地方道京都宇治線）を起点とした周辺地域の渋滞が発生しており、広域的な道路網のあり方や観光車両の分散など引き続き検討が必要です。
- ③ 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。
- ④ 白川地区の良好な景観形成や、歴史文化の継承及び茶業の振興などに向けまちづくりや、南陵町の安心、安全、良好な住環境を守る活動、平等院表参道の地域の歴史的・文化的な背景をいかした良好な景観づくりなど将来のまちの姿の共有が必要です。

■ これからの地域づくりのテーマ (案) (p80)



■ 地域づくりの基本方針 (案) (p81~p85)

【土地利用の方針】

(5) 山間集落地 ④ (市街化調整区域の維持や秩序ある発展)

● 伝統的な集落環境と景観の保全・整備

白川周辺の山間集落地では農業の保全を前提としながら、ゆとりある田園居住空間の創出をめざします。また、周辺での不法投棄や休耕など、また、金色堂などの歴史的遺産をいかし、生垣などの身近なみどりが十分に配された伝統的な集落環境と景観の保全・整備に努めます。

また、地域の発展のため、市街化調整区域の目的を変えない範囲で住環境の維持や秩序ある土地利用を住民と協働で検討します。

【交通の方針】

(1) 公共交通 ② (既存公共交通を基盤とした利用促進)

● 利便性の高い交通施設の充実と交通結節機能の強化

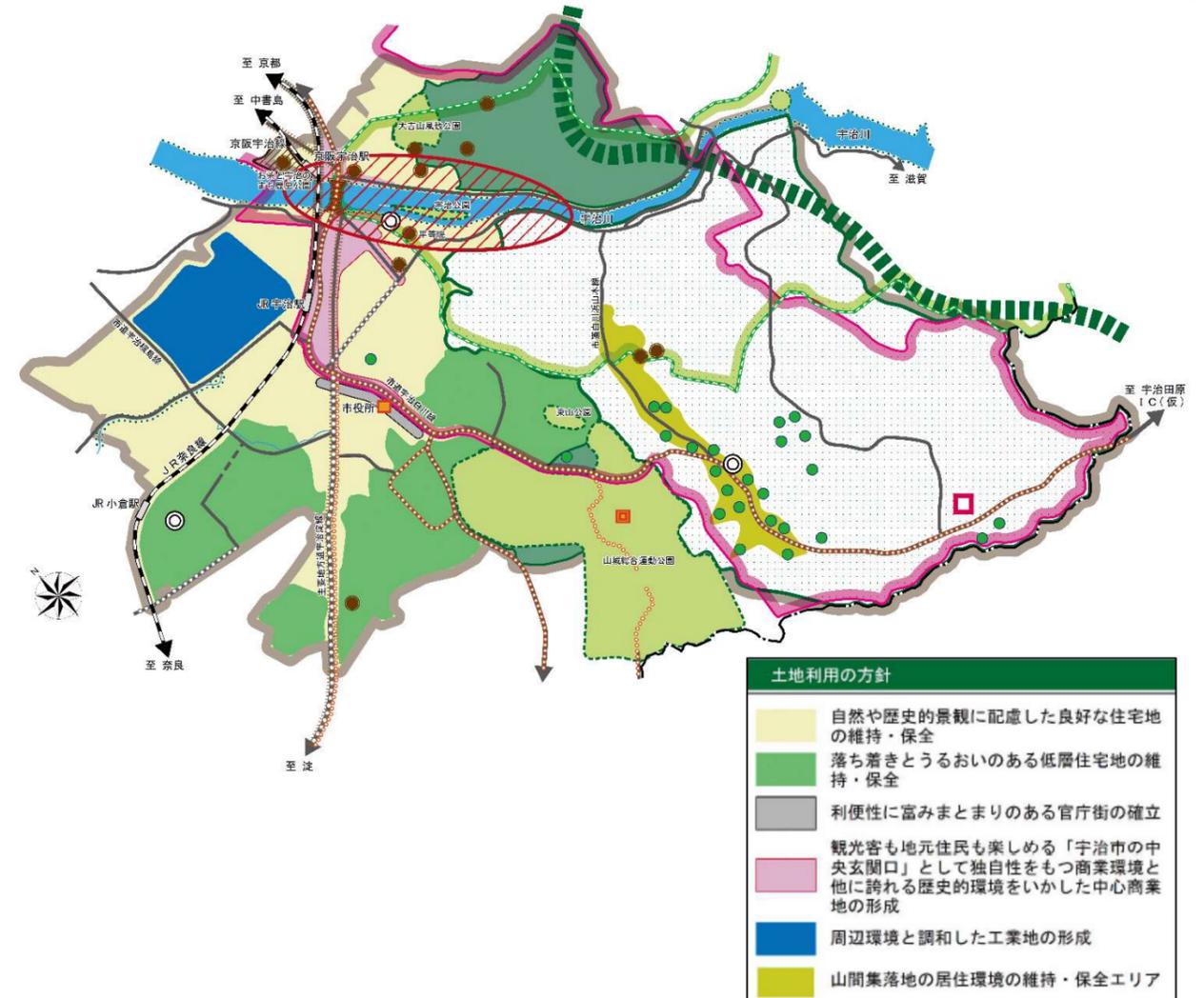
JR 奈良線の複線化による定時制確保や安全性の向上を進めるとともに、文化・歴史・自然が調和したまちづくりと一体となった交通結節機能の強化を進め、既存公共交通の利用促進を図ります。

(2) 道路 ①幹線道路 ② (交通の円滑化のあり方などの検討)

● 市街地にアクセスする幹線道路網の整備

本地域には宇治橋を中心に自動車交通が集中する傾向が強く、特に朝夕の渋滞がみられる主要地方道宇治淀線や市道宇治白川線および宇治榎島線などの幹線道路とともに幹線道路網の整備が必要です。また、新名神高速道路開通後の交通状況を見極め、交通の円滑化をはじめ交通容量の拡大や通過交通の市街地流入の抑制などによる交通分散・円滑化の検討を進めています。

■ 地域づくりの基本方針図 (案) (p86)



【都市防災の方針】

● 災害リスクの情報共有 ③ (災害リスクを認識した上でのまちづくり)

地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

【まちづくり活動の方針】 ①、④ (地域がめざすまちの姿の共有)

● 観光客も地元住民も楽しめる宇治市の中央玄関口の形成

JR 宇治駅・京阪宇治駅周辺の商店街等やお茶と宇治のまち歴史公園、産業支援拠点等を含む一帯を「モデルエリア」に位置付け、子育て世代の支援と地域の活性化につながる一体的な取り組みを進めます。

● パートナーシップによる将来のまちの姿の共有

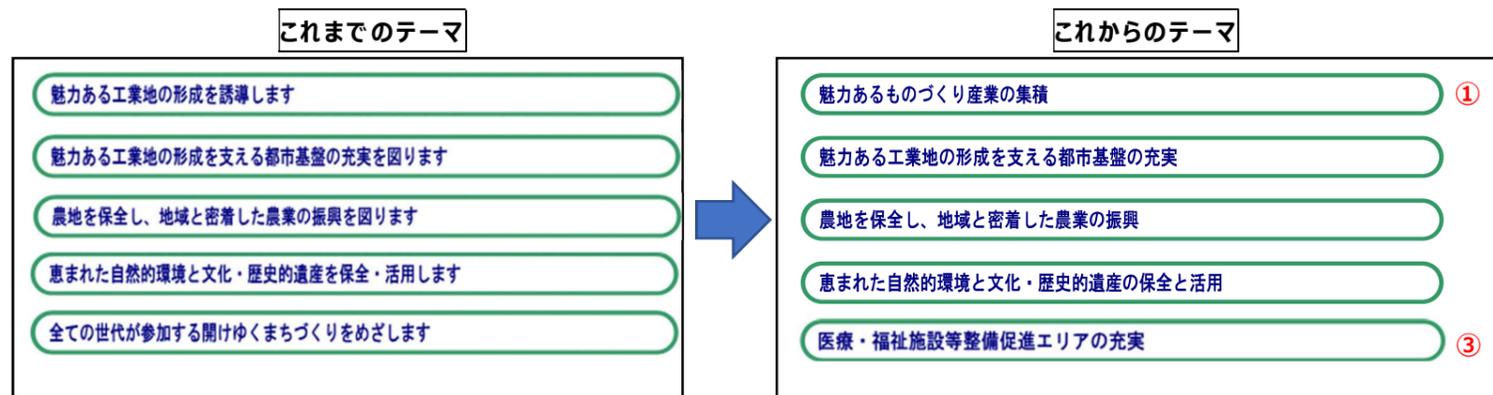
地域の将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動を支援します。

4. 槇島地域

■ これからの地域づくりの主な課題 (p88)

- ① 幹線道路沿道から工場が撤退し、商業系への土地利用転換や多くの地域で住居の混在が進むなど変化が見られ、事業拡大のための用地が不足しており、操業環境の保全が必要です。
- ② 道路網は京都市との行政区で慢性的に渋滞しており、安全性、経済的損失、環境のためにも東西軸の強化による分散など、適正な道路網構築が必要です。
- ③ 医療・福祉施設等整備促進エリアについて、ニーズの高い回復期の病院機能の強化等、医療・福祉の連携したさらなる機能充実を進める必要があります。
- ④ ほぼ全域が洪水浸水想定区域であることから流域治水と合わせ、ハザードマップなどにより地震災害も含めた災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

■ これからの地域づくりのテーマ (案) (p89)



■ 地域づくりの基本方針 (案) (p89～p92)

【土地利用の方針】

(3) 工業地 ① (ものづくり産業拠点の振興)

● 一層魅力ある「ものづくり産業拠点」として大規模工場・関連中小工場の集積促進

大規模工場やその関連工場が集積している地区や京滋バイパス宇治西インターチェンジに近接している地区を中心に、本市の特徴であるニッチトップ型の中小企業の集積により一層魅力あるものづくり産業拠点として誘導します。

● 幹線道路などの充実による新たな産業の誘致・振興

産業の集積や宇治西インターチェンジへの近接性など地域が持つ特性を活かすため、さらに幹線道路の円滑性、安全性を向上させることで、新たな産業の誘致・振興をめざします。

● 住宅と共存する工業地の形成

住宅と工場等が近接している地域については、土地利用方針を共有することで周辺環境との調和を図りつつ、既存工場の操業環境を確保し、住宅と共存する工業地をめざします。

【交通の方針】

(2) 道路 ② (広域的なまちづくりの視点による道路網の構築)

● 市民生活とものづくり産業拠点を支える幹線道路の整備

国道24号及び主要地方道城陽宇治線(旧24号)においては朝夕の渋滞緩和のため、交通の円滑化や歩行者や自転車の安全に配慮した道路改良を目指し、関係機関と連携し取組みます。

【都市防災の方針】

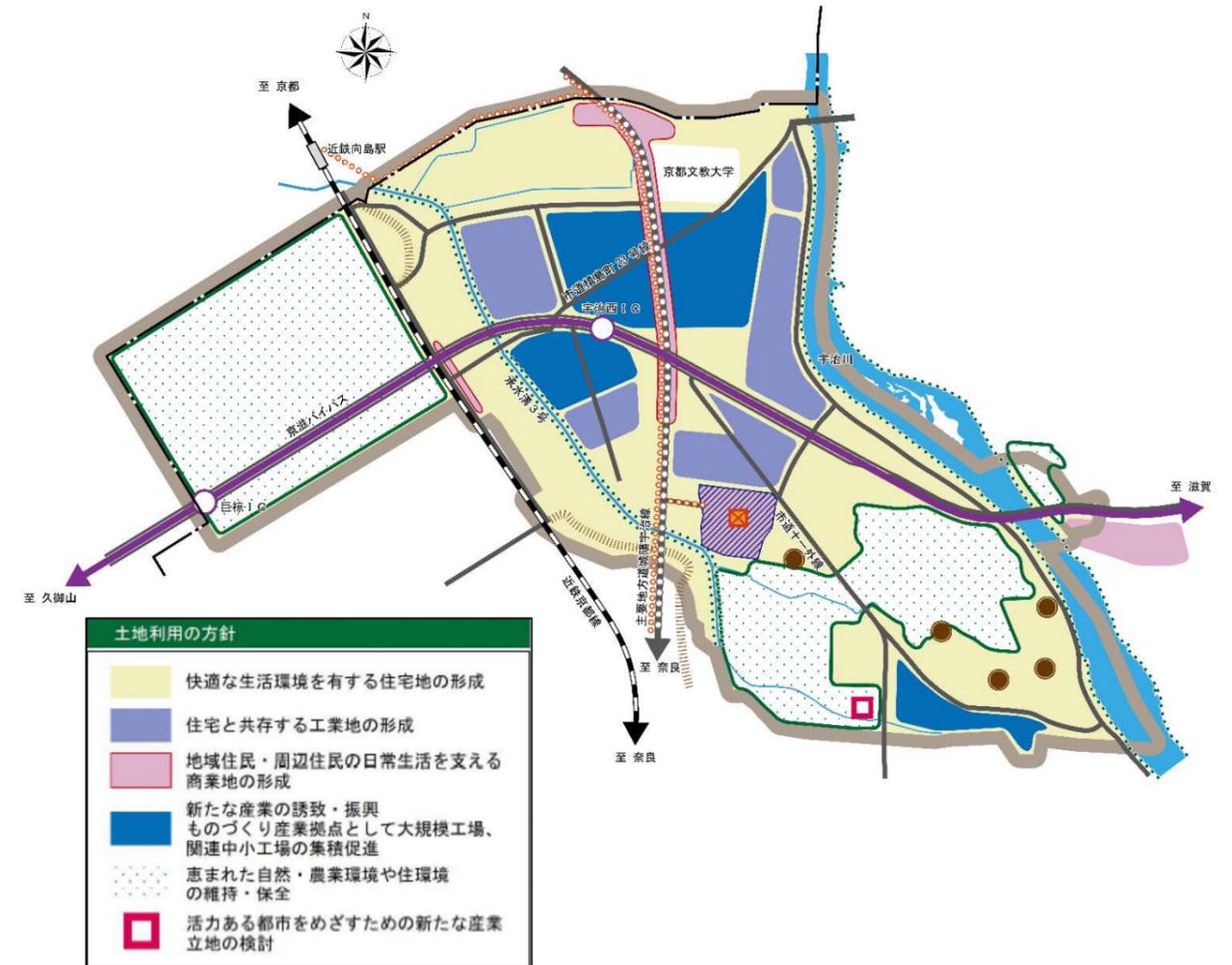
● 災害時の拠点施設の整備促進 ③ (医療・福祉の連携したさらなる機能充実)

地域における災害時の避難・救援活動を拠点的に担うための医療・福祉施設等整備促進エリアを設け、地震や水害時でも機能するように必要な措置を講じた救急・高度医療施設などの整備を促進するとともに、これら施設を一時避難地や福祉避難所としても活用します。また、ニーズの高い回復期の病院機能の強化等、医療・福祉の連携した機能充実を進めます。

● 災害リスクの情報共有 ④ (災害リスクを認識した上でのまちづくり)

地域内には、水災リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

■ 地域づくりの基本方針図 (案) (p93)

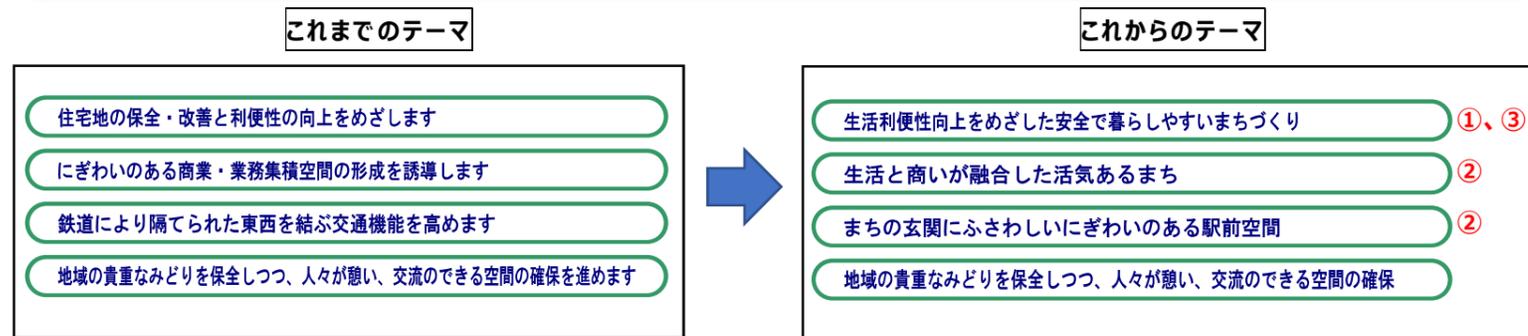


5. 小倉地域

■ これからの地域づくりの主な課題 (p96)

- ① 商業需要の低下及び買い物ニーズの変化に伴い、駅周辺の商業の魅力のあり方について見直す必要があります。
- ② 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想（令和3年度策定予定）において、まちがもつ様々な特徴をいかしたまちづくりを多くの方が望まれており、今あるまちの良さを生かした上で、新たな視点を加えた持続・発展するまちづくりをめざす必要があります。
- ③ 定住人口につながる多様な働く場を創出するための対策が必要です。
- ④ 駅及びまちの中心部の広範囲が浸水想定エリアであり、災害を踏まえたまちづくりのあり方について検討が必要です。
- ⑤ 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

■ これからの地域づくりのテーマ (案) (p96)



■ 地域づくりの基本方針 (案) (p97～p99)

【土地利用の方針】

（2）商業地 ①、②（今あるまちの良さに新たな魅力を加えたまちづくり）

●地域の生活拠点としての機能の充実や魅力の向上

既存商店などが並ぶ近鉄小倉駅周辺では、個性的で特色のある生活と商いが融合した活気あるまちを目指すとともに、駅前やアクセス性の良さをいかした上で、任天堂資料館（仮称）の新たな魅力を加え、府道城陽宇治線沿道には魅力ある商業・業務集積を誘導します。

（3）工業地 ③（定住人口につながる新たな産業立地エリアの検討）

●活力ある都市をめざすための新たな産業立地の検討

多様な働く場の創出により定住人口につながられるよう、産業立地検討エリアでの企業立地実現に向け取組みを進めます。本地域は、新名神高速道路までのアクセスが良く、一団の用地の確保も期待できること、職住近接により人材確保がしやすいこと、操業による周辺環境への影響が少ないこと、企業ニーズが高いことから優先的に検討を進めます。

【交通の方針】

（1）公共交通 ②、④（まちづくりと一体となった交通ネットワークの構築）

●近鉄小倉駅の交通結節点機能の強化

まちの玄関にふさわしいにぎわいのある駅前空間となるよう近鉄小倉駅周辺の整備を関係機関と連携し進めます。また、個性ある駅東西の地域を連絡することでまちの活性化につなげるとともに水害など災害時の避難通路とするなど防災力向上を検討します。

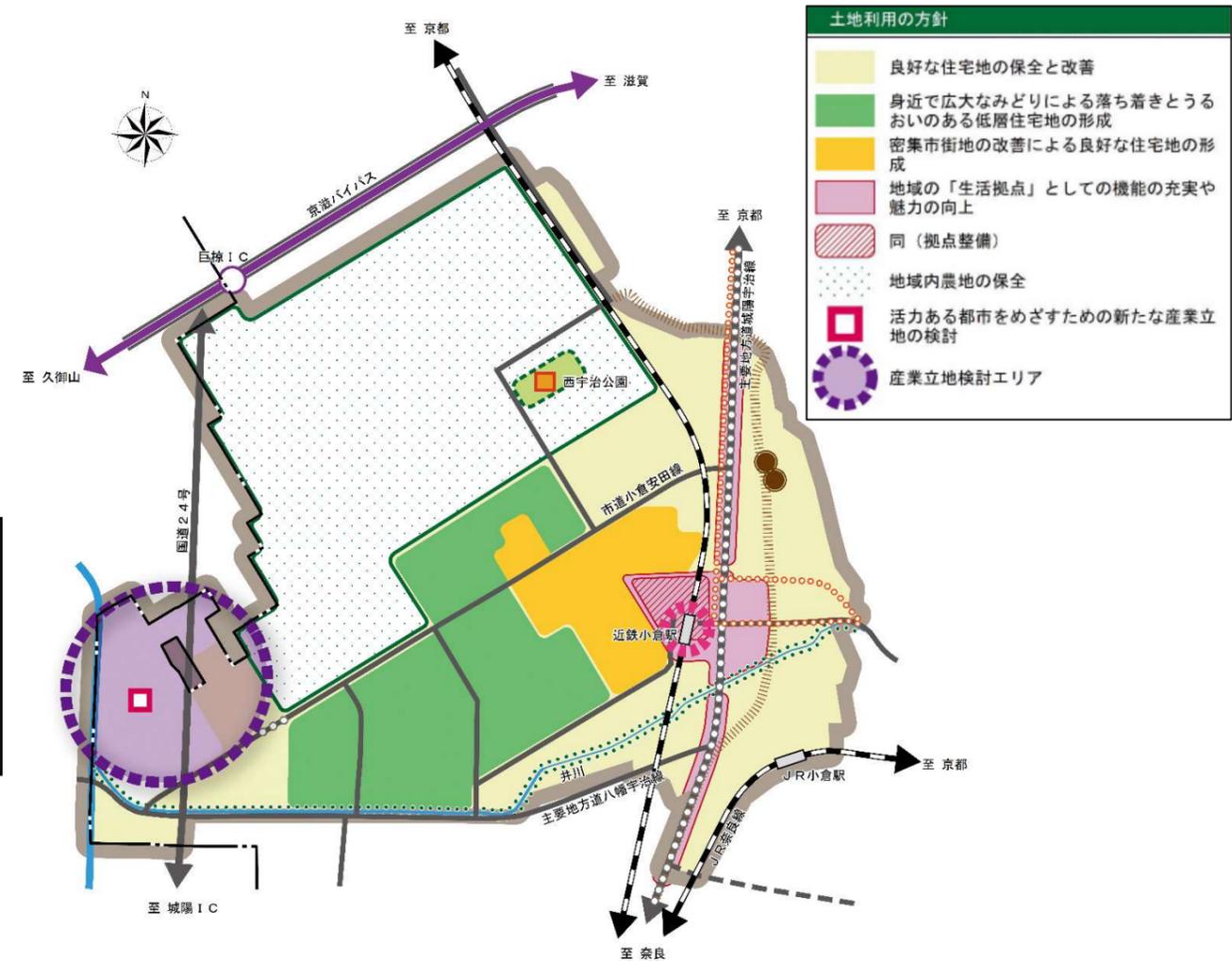
さらに、中枢拠点をはじめ他の拠点とまちの魅力共有ができるようまちづくりと一体となった交通ネットワークの構築と、既存公共交通を基盤とした地域住民の新たな移動ニーズへの対応などを検討します。

（2）道路 ②（まちづくりと一体となった道路ネットワークの検討）

●主要地方道城陽宇治線等の整備・改良促進

近鉄小倉駅周辺まちづくり基本構想を踏まえた道路のあり方を検討するとともに、主要地方道城陽宇治線や主要地方道八幡宇治線については、沿道にある商業地・住宅地の居住環境へ配慮しながら、関係機関と協力し検討します。

■ 地域づくりの基本方針図 (案) (p100)



【都市防災の方針】

●浸水に対する防災機能強化 ④、⑤（防災・減災対策の強化）

小倉地域はかつて巨椋池があったことから土地が低く平坦であり、浸水被害が課題となっています。特に、井川などの流域では雨水流出抑制策も含め総合的な治水対策の推進に努めています。

●災害リスクの情報共有 ④、⑤（災害リスクを認識した上でのまちづくり）

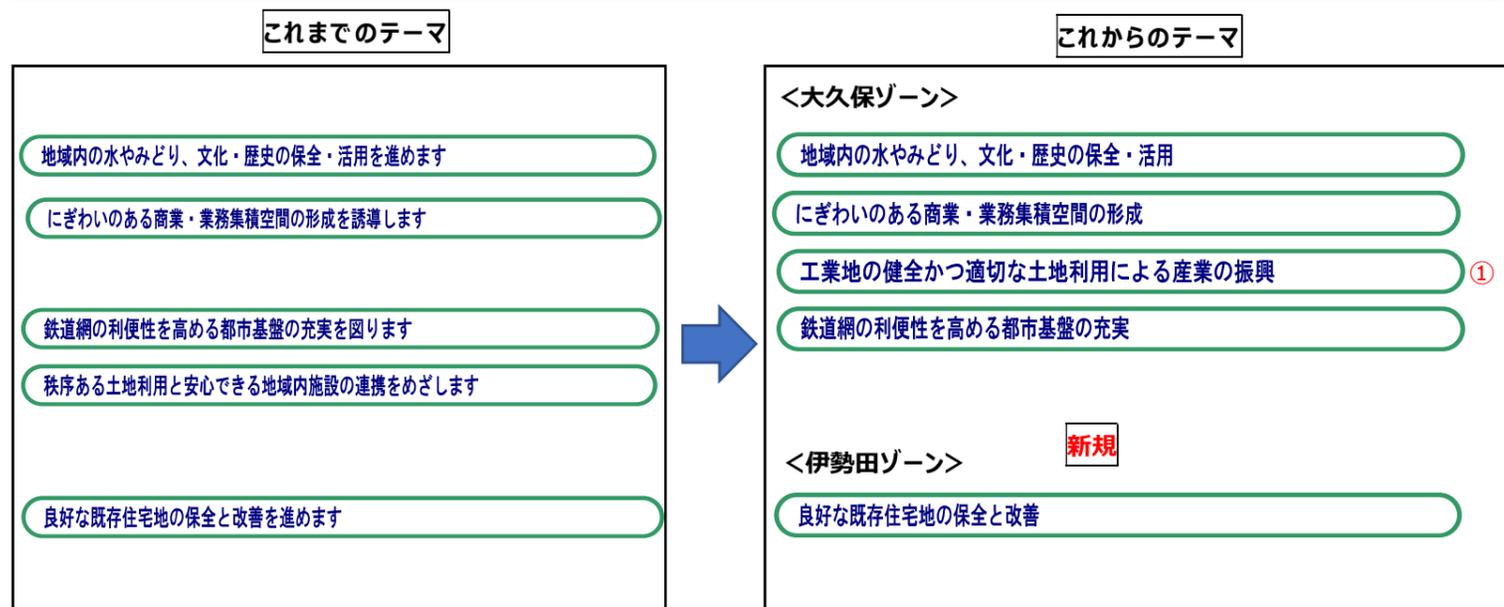
地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

6. 大久保地域

■ これからの地域づくりの主な課題 (p102)

- ① 工業系の地域においても、住居、商業のニーズが高く、府道沿道（南側）の工業的土地利用が減少傾向であり、工業用地のあり方について検討が必要です。
- ② 隣接する城陽市、久御山町との連携による一体性や相乗効果による、まちづくりの検討が必要です。
- ③ 隣接した市町と連携したまちづくりを支援する道路ネットワークの検討が必要です。
- ④ 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

■ これからの地域づくりのテーマ (案) (p103)



■ 地域づくりの基本方針 (案) (p103～p106)

【土地利用の方針】

(2) 商業・業務地 ① (にぎわいのある商業・業務集積)

●宇治市の南の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出

近鉄大久保駅およびJR新田駅周辺では、交通の利便性をいかした歩いて楽しいまちづくりをめざし、鉄道駅と連携した快適な歩行者空間づくりを検討するとともに、既存商店街の充実などにぎわいを創出することができる土地利用を誘導します。

(3) 工業地 ① (ものづくり産業拠点の振興)

●ものづくり産業拠点の振興

大久保地区地区計画（フェニックスパーク）の区域については、今後も市の主要な「ものづくり産業拠点」として、健全かつ適切な土地利用を行い、産業の振興を図ります。

【交通の方針】

(1) 公共交通 ② (周辺市町との一体性や相乗効果によるまちの強化)

●各駅周辺における交通結節機能の強化及び鉄道網の利便性向上

地域内の各駅の交通結節機能について検討することにより、鉄道やバスなどの公共交通の利便性向上と周辺市町のまちづくりと一体となった利用促進を図ります。また、JR奈良線の複線化による定時性確保や保安度の向上を進めます。

(2) 道路 ③ (交通結節性の充実をいかしたまちづくり)

●府道宇治淀線および府道城陽宇治線の整備促進

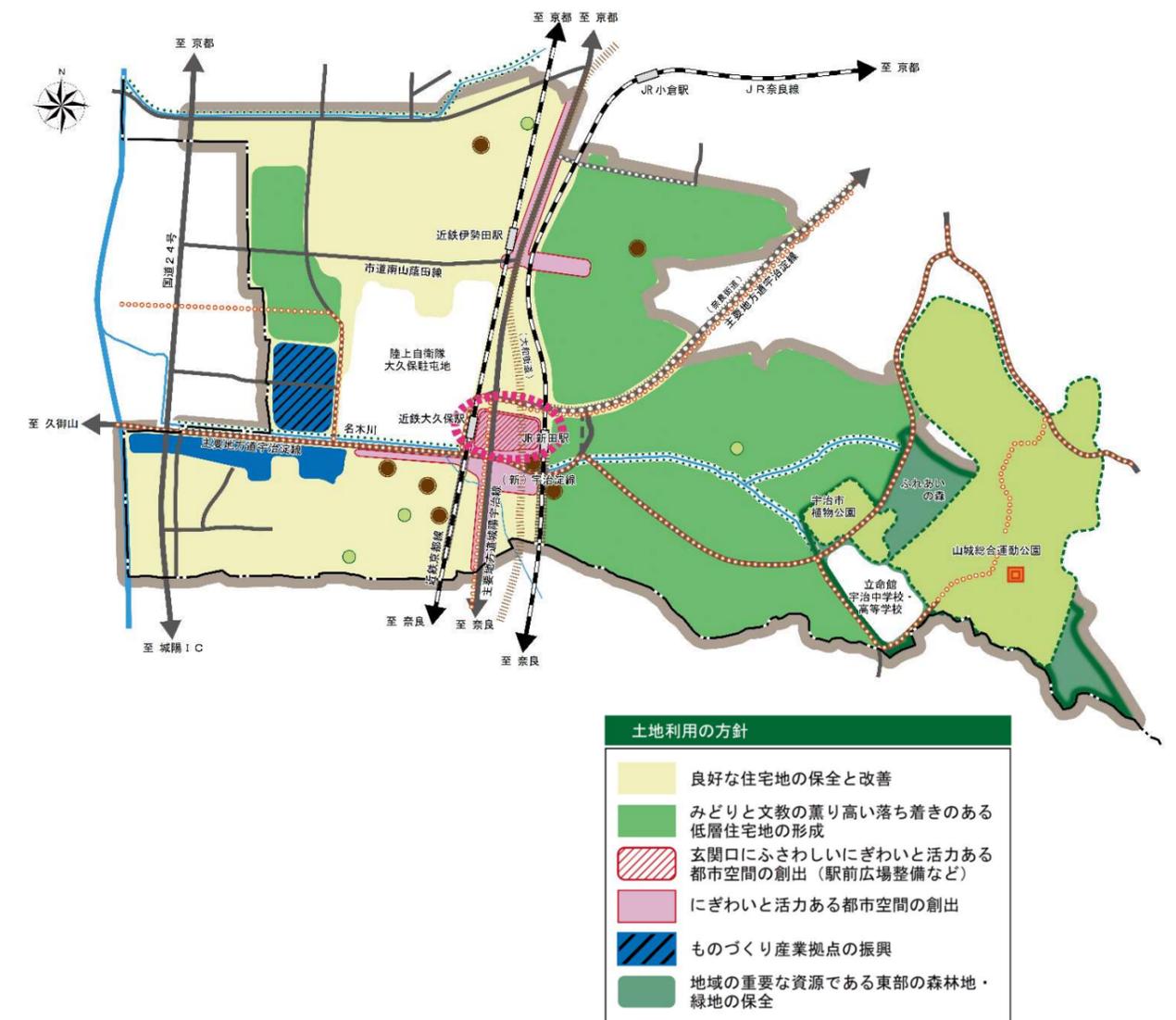
朝夕の交通渋滞の緩和や安全性向上のため、駅へアクセスする主要地方道宇治淀線および主要地方道城陽宇治線の拡幅など道路整備について引き続き関係機関と協力して進めます。

【都市防災の方針】

●災害リスクの情報共有 ④ (災害リスクを認識した上でのまちづくり)

地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害および地震の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

■ 地域づくりの基本方針図 (案) (p107)



7. 山間地域

■ これからの地域づくりの主な課題 (p109)

- ① 人口減少、高齢化が特に進展しており、地域づくりの担い手や魅力の発信が不足しています。
- ② 既存公共交通を基盤とした新たな移動ニーズへの対応が必要です。
- ③ 地域内には土砂災害警戒区域が多数存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、防災能力の向上が必要です。
- ④ 地域生活を支える道路の安全性の向上が必要です。

■ これからの地域づくりのテーマ (案) (p110)

これまでのテーマ

- 関連法制の適用などにより不法投棄を防止し宇治の誇りである自然を守ります
- 豊かな自然環境と調和した地域振興を図ります
- 生活に不便なく、安心して住めることのできる生活環境の充実を図ります
- 地域内の観光・レクリエーション施設や豊かな自然を活用したまちづくりを進めます
- 自然環境保全のあり方を実践し里山の保全、復元、活用を進めます



これからのテーマ

- 不法投棄を防止し宇治の誇りである自然の保全
- 豊かな自然環境と調和した地域振興 ①
- 安心して住むことのできる生活環境の充実 ②、④
- 地域内の観光・レクリエーション施設や豊かな自然を活用したまちづくり
- 自然環境保全のあり方を実践し里山の保全、復元、活用

■ 地域づくりの基本方針図 (案) (p113)



■ 地域づくりの基本方針 (案) (新規・拡充) (p110～p112)

【交通の方針】

(1) 公共交通 ② (地域に必要な移動手段への支援)

● 地域に必要な移動手段確保への支援

地域に必要な移動手段を確保するため、炭山助け合い移動支援事業など地域住民の主体的な取組みに対して、既存公共交通との整合を図りながら、その運営に関する支援を行います。

【都市防災の方針】

● 土砂災害への対応 ③ (土砂災害への対応)

山間地域は大部分が山林で占められており、土砂災害の危険性が存在しています。土砂災害警戒区域をはじめ土砂災害の危険性がある地域では京都府南部地域豪雨災害でも大きな被害がでており関係機関と連携し、土砂災害対策に努めます。

● 災害リスクの情報共有 ③、④ (災害リスクを認識した上でのまちづくりと地域生活を支え道路の安全性の向上)

地域内には、土砂災害のリスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域や京滋バイパス、府道、市道の管理者が協力し地域アクセス道路の通行状況などの情報の共有に努めます。

【まちづくり活動の方針】

● パートナーシップによる将来のまちの姿の共有

① (地域がめざすまちの姿の共有)

山間地域では人口が少なく、少子高齢化が進んでいるため市民と行政とが連携したまちづくりを進めることが重要です。地域住民によるまちづくり活動として炭山地区では、すべての人が豊かな自然環境を生き安心して楽しく住み続けられるまちづくりの実現に向けて取り組んでいます。宇治市では、こうした地域の将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動を支援します。

宇治市都市計画マスタープラン
まちづくりオープンハウス及び意見交換会

宇治市都市計画マスタープラン まちづくりオープンハウス・地域別意見交換会について

開催内容

1. まちづくりオープンハウス

説明パネルの展示や映像上映とあわせ、来場した方に市の職員がまちづくりの取り組み状況などについて情報提供や説明をしながら、これからのまちづくりについて意見交換を行います。

2. 意見交換会

市の職員が都市計画マスタープランの素案について説明した後、オープンハウスでよせられた「地域づくりの方針図」へのご意見などを参考にどのようなめざす地域づくりについて意見交換を行います。

開催日時・会場

開催日	対象地域	会場	オープンハウス	意見交換会
9月6日(月)	黄檗地域	東宇治地域福祉センター	14:00～18:00	19:00～20:30
9月7日(火)	槇島地域	槇島コミュニティセンター	11:00～18:00	19:00～20:30
9月8日(水)	志津川	志津川集会所	13:30～15:30	15:30～17:00
9月14日(火)	宇治地域	ゆめりあうじ	11:00～18:00	19:00～20:30
9月15日(水)	白川	白川集会所	13:30～15:30	15:30～17:00
9月16日(木)	大久保地域	南宇治コミュニティセンター	11:00～18:00	19:00～20:30
9月18日(土)	市内全域	生涯学習センター	11:00～18:00	19:00～20:30
9月22日(水)	六地藏地域	六地藏公会堂	11:00～18:00	19:00～20:30
9月28日(火)	山間地域	アクトパル宇治	11:00～15:30	15:30～17:00
9月30日(木)	小倉地域	西小倉コミュニティセンター	11:00～18:00	19:00～20:30

市内全10会場で開催

オープンハウスの内容・・・詳細は別紙資料

パネル展示コーナー

【全会場共通】

- (1) 都市計画マスタープランの役割
- (2) 全体構想（これからの視点～基本目標）
- (3) 将来都市構造図
- (4) 全体構想（部門別方針）
- (5) 宇治市の街角写真〔特別展示〕

【地域別】

- (6) まちづくりの成果
- (7) 地域住民から見た宇治市の魅力の評価と地域の課題
- (8) お住まいの地域の魅力・・・シールアンケート
- (9) 地域づくりの基本方針
- (10) 地域づくりの基本方針図・・・付箋アンケート

映像コーナー

- (1) 全体構想について
- (2) 地域別構想について
- (3) 宇治市の街角写真

アンケート

お住まいの地域（大字）

お住まいの地域の魅力

まちづくりオープンハウスの感想

意見交換会の内容

市の職員から都市計画マスタープランについて説明

オープンハウスのシールアンケート、付箋アンケートの結果を基に

これからの地域づくりについて意見交換

意見交換会&まちづくりオープンハウス

開催します

申し込み不要

まちの設計図
を描こう

09月

1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	黄檗地域で開催
7	火	槇島地域で開催
8	水	志津川地域で開催 ^②
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	宇治地域で開催
15	水	白川地域で開催 ^②
16	木	大久保地域で開催
17	金	
18	土	全地域対象で開催 ^①
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	六地藏地域で開催
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	山間地域で開催
29	水	
30	木	小倉地域で開催

宇治市のこれからの「まちづくり」を考えてみませんか？

宇治市ではまちづくりの基本的な方針である「宇治市都市計画マスタープラン」の改定に取り組んでいます。

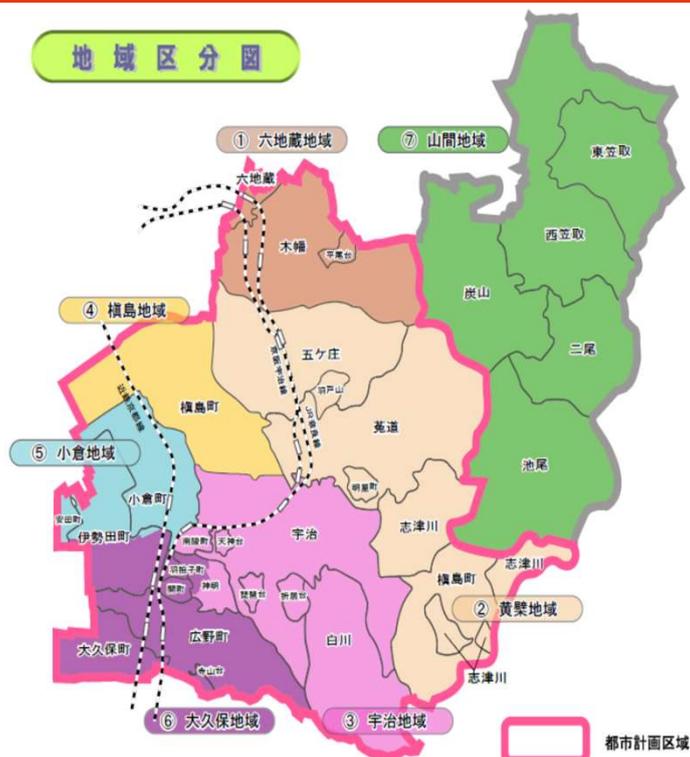
地域の皆さまと一緒に考え、より良い計画を策定するため、各地域を対象として市内10会場で「まちづくりオープンハウス&意見交換会」を開催します。

オープンハウスと意見交換会は意見をお聞きする手法が異なりますが、同様の内容となります。

各会場では、その地域についての展示と説明や、意見交換を行いますので、お近くの会場へお越しください。

多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

地域区分図



まちづくりオープンハウスってなに？

オープンハウスとは、開催時間内に自由にご来場頂き、説明パネル等の展示とあわせ、ご来場した方に市の職員がまちづくりの取り組み状況などについて情報提供や説明をしながら、**これからのまちづくりについて対話する場**です。

意見交換会は、宇治市都市計画マスタープランの説明を行い、まちづくりに関するご意見等をお伺いします。



オープンハウスでなにをするの？

市民の皆さまに、まちづくりに関するご意見やまちの課題、将来のイメージをお伺いします

☞ パネル展示コーナー

- 地域の特徴
- これまでのまちづくりの成果
- 将来の基本方針
- 昔懐かしの街角写真【特別展示】

☞ 映像コーナー

- 都市計画マスタープラン (全体構想と地域別構想)

☞ アンケートコーナー

- まちづくりのアイデア募集

来場者特典！

来場プレゼントを用意しております。
(数に限りがありますのでご了承願います。)

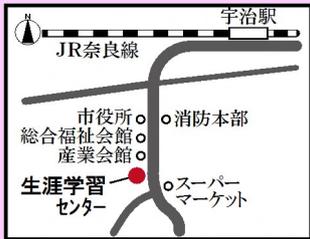


意見交換会&まちづくりオープンハウス

開催します

新型コロナウイルスの影響により、
中止となる場合や入場制限をすることがあります。
最新の情報は市のホームページをご覧ください。

全地域対象 会場 生涯学習センター

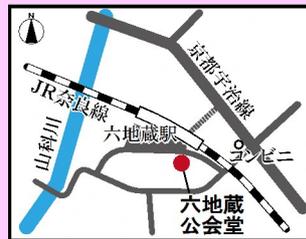


宇治琵琶45-14

9/18 (土)
まちづくりオープンハウス
11:00~18:00
意見交換会
19:00~20:30

市役所駐車場をご利用ください

六地藏地域 会場 六地藏公会堂

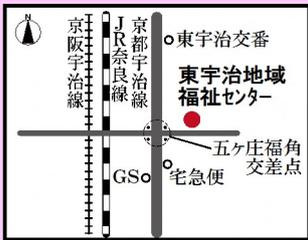


六地藏奈良町35-10

9/22 (水)
まちづくりオープンハウス
11:00~18:00
意見交換会
19:00~20:30

駐車場はありません

黄檗地域 会場 東宇治地域福祉センター

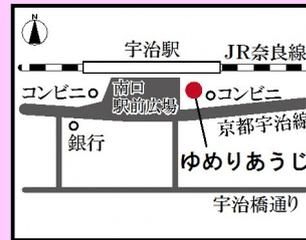


五ヶ庄折坂5-149

9/6 (月)
まちづくりオープンハウス
14:00~18:00
意見交換会
19:00~20:30

駐車場は利用できません

宇治地域 会場 ゆめりあうじ

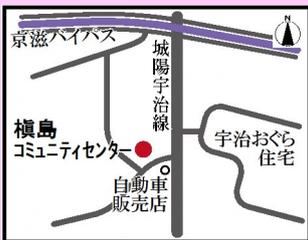


宇治里尻5-9

9/14 (火)
まちづくりオープンハウス
11:00~18:00
意見交換会
19:00~20:30

駐車場はありません

榎島地域 会場 榎島コミュニティセンター



榎島町大川原27-5

9/7 (火)
まちづくりオープンハウス
11:00~18:00
意見交換会
19:00~20:30

大久保地域 会場 南宇治コミュニティセンター



大久保町上ノ山42-3

9/16 (木)
まちづくりオープンハウス
11:00~18:00
意見交換会
19:00~20:30

駐車場はありません

小倉地域 会場 西小倉コミュニティセンター



小倉町南堀池107-1

9/30 (木)
まちづくりオープンハウス
11:00~18:00
意見交換会
19:00~20:30

駐車場はありません

山間地域 会場 アクトパル宇治



西笠取辻出川西1

9/28 (火)
まちづくりオープンハウス
11:00~15:30
意見交換会
15:30~17:00

志津川地域 会場 志津川集会所



志津川南組16-3

9/8 (水)
まちづくりオープンハウス
13:30~15:30
意見交換会
15:30~17:00

白川地域 会場 白川集会所



宇治娑婆山16-1

9/15 (水)
まちづくりオープンハウス
13:30~15:30
意見交換会
15:30~17:00